

会 議 録

会議の名称		令和5年度第3回つくば市スポーツ推進審議会		
開催日時		令和5年9月11日（月）開会14:30から		
開催場所		消防庁舎3階 多目的ホール		
事務局（担当課）		市民部スポーツ振興課		
出席者	委員	酒井利信委員（会長）、萩原武久委員、片岡千恵委員、 富田竜夫委員、木村一男委員、木村陸委員、高野文男委員、 野村友香里委員、石黒澄子委員、大久保克己委員		
	その他			
	事務局	市民部：池畑次長 スポーツ振興課：大久保課長、宮下課長補佐、 中山係長、藤本主査、小林主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
		傍聴者数	0名	
議題		1 第2次スポーツ推進計画策定について 2 令和4年度つくば市スポーツ推進計画施策等の評価について		
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 【審議事項第1号】第2次スポーツ推進計画策定について ①前回の審議会を受けての修正等 ②新たな審議事項 【審議事項第2号】令和4年度つくば市スポーツ推進計画施策等の評価について 4 そ の 他 5 閉 会			

<審議内容>

3 議事

酒井会長：

それでは次第に基づきまして、議事を進めてまいりたいと思います。前回の審議会を受けて修正等について、事務局から説明をお願いいたします。

【審議事項第1号】第2次スポーツ推進計画策定について

① 前回の審議を受けての修正等

事務局：

資料1、2と合わせまして、参考資料2をお手元にご用意ください。参考資料2に沿ってご説明をさせていただきます。

まずは参考資料2のNo1になります。前回、齊藤委員から「こども」や「生徒」の表記についてご意見を頂戴しました。計画内では「こども」の表示は全て漢字の「子供」で統一し、小学生、中学生、高校生を示す場合は「児童生徒」の表現で統一しました。

次に、参考資料2のNo2とNo3になります。片岡委員と齊藤委員からいただきましたご意見で、概念図に関連するものです。「ライフステージ」という表現と、概念図の中で「子供」「高齢者」「障害者」「成人」が表されている件に関しまして、齊藤委員にご相談をさせていただきながら、市長と副市長とも協議を重ねまして概念図を作成しました。

資料1の2ページ目をご覧ください。2つ概念図が並んでいますが、上が今回作成した概念図案で、下が現計画の概念図となります。やはり、皆様のおっしゃるとおり、障害者をライフステージで表すことは適切ではないと思います。一方で次期計画では、障害者スポーツに関する施策をととても重要なものと位置づけている中で、概念図の中に障害者スポーツに関する表記がないということ

に対する違和感もございました。そこで今回、計画の中の表記から「ライフステージ」という言葉を削除しました。この計画では「子供」「高齢者」「障害者」「成人」など、それぞれの属性にあったスポーツの施策を行い、一人ひとりに応じたスポーツ文化を創出することとしたいと思っております。

これまで「ライフステージ」という表現をしていた部分ですが、例えば資料1の1ページでは「一人ひとりに応じた」というように表したり、資料1の3ページでは「すべての市民が障害の有無等に関わらず生涯にわたり」というように、表現を変えています。

続きまして、参考資料2の2ページをご覧ください。No4～No6について、齊藤委員、木村陸委員、片岡委員からいただきました、国際交流についてのご意見です。つくば市にとって、国際交流はとても重要なことと考えておりますので、国際交流とスポーツを通したダイバーシティ&インクルージョンの2つの観点で施策の内容を追加いたしました。追加した箇所としましては、資料2の7ページの⑥のところに「国際交流機会の拡大について」という文言を加えました。また、同資料の10ページ②の中に「大学や研究機関等との連携においては～」の中に、ホストタウンについての記述と海外アスリートとの交流を追加しました。

最後のNo7とNo8は、萩原委員や酒井会長からいただきました、庁内の連携についてです。こちらは資料3となっておりますが、ご意見いただきましたとおり、スポーツ振興やスポーツ課題の解決のためには、庁内の連携が大変重要であると考えています。そのため、資料2の10ページの④に「スポーツ振興課及び関係部署の情報共有や連携強化」について追加しました。今回の対応は以上です。

酒井会長：

ありがとうございます。ただいま、事務局からご説明がありましたが、改めてご質問やご助言、ご意見等はございますか。

概念図は、これでいくのでしょうか。

事務局：

はい。訂正版の概念図でよろしければ、この方向で考えております。もし、ご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

酒井会長：

私は「ライフステージ」という言葉が好きなのですが、それを入れてしまうと、障害者などの所で色々な齟齬が起こってきてしまいます。それを省いて、概念図もこのような形で工夫をしていただいております。

大久保委員はいかがでしょう。

大久保委員：

大久保でございます。

今回の概念図はかなりシンプルでわかりやすく、特に悪いところはないと思います。

酒井会長：

わかりました。若い世代の意見として、木村陸委員はいかがでしょう。

木村陸委員：

大久保委員からもありましたが、私も同様のことを考えていました。どの年代が見てもわかりやすいことが一番重要だと思います。逆に言うと、小学生でもわかるくらいが丁度良いと思っています。

また文言等を変えていただいた部分についても、語弊が起こりにくいような形で修正していただいたので、良いかと思えます。

酒井会長：

ありがとうございます。高野委員はいかがでしょう。

高野委員：

私も同様の考えで、老若男女全ての方が見ても非常にわかりやすい文章になっていますので、これで良いのではないかと思います。

酒井会長：

ありがとうございました。他にご意見はございませんか。

その他に、事務局からのご説明に関して何かご意見等ございませんか。

それでは先に進みます。次は、資料2の「IVスポーツ推進に向けた取組」の「iii 3つの重点取組」と資料3の「V計画の進行管理」について、事務局より説明をお願いいたします。

【審議事項第1号】第2次スポーツ推進計画策定について

② 新たな審議事項

事務局：

資料2の15ページからご覧ください。

前半の14ページまでは、前回の審議会でご審議いただいた内容を修正したものになります。15ページからが今回新たに付け加えたものになります。スポーツ推進に向けた10の施策と、それらに紐づく取組の中から、今後5年間で特に重点的に取り組むべき事項を、つくば市らしさを構築する「3つの重点取組」という形で整理しました。

前提の考え方としましては、現在進行形の取組で早急に対応が必要なものであり、つくば市として特に重要と考えているものを抽出しました。

重点取組1ですが「だれにでもやさしいスポーツのまち」ということで、こちらは障害者スポーツに関するものを選んでいきます。

続いて、重点取組2「スポーツでつながるまち」というのは、子供のスポーツに関するものを選んでいきます。中学校の部活動との関係等、庁内関係部署と連携をしながら進めていかなければならないこともありますので、一つ抽出しています。

次に重点取組3「つくば市らしいスポーツ環境」ということで、今後力を入れていくべきところで、施設に関するものを3つ目として選びました。重点取

組については以上です。

資料3の進行管理についてですが、スポーツ推進計画の実施体制や進捗を確認するために重要なポイントをまとめさせました。その中でも、萩原委員からご指摘いただいた市役所内部の連携の重要性についても追記しています。説明は以上です。

酒井会長：

ありがとうございます。それでは、一つずつ確認したいと思います。資料2で「3つの重点取組」を挙げていただきましたが、何かご意見等はございますか。これで行けば市らしさが全面に出てくるということになると思いますが。

木村陸委員：

重点取組2に関して、「スポーツでつながるまち」なので、違うニュアンスだったら申し訳ないのですが、施策6の指導者の養成と地域リーダーの育成のところに審判育成という項目を入れることも一つ重要なのではないかと思います。茨城中体連のソフトテニス専門部の先生から、子ども達に審判をやらせることで保護者からクレーム等があり、支える点ですごく大きな問題となっているというお話を伺いました。

他の県でもそうですが、野球やサッカーなどの競技も審判が不足していると、つながろうとしても、競技者や企画運営者がいないとなれば、結局つながることができないと考えます。今後5年、10年、20年見ていくと、こういったところも育成の段階に入ってくる部分かもしれません。したがって、審判育成の部分に注力してもよいのではないかと思います。

事務局：

ありがとうございます。大変重要な視点だと思います。施策への追加等も考えながら、ご意見の反映方法については検討させていただきたいと思います。

酒井会長：

ありがとうございます。審判の問題などは重要ですね。

昨日は一日、日本武道館で関東インカレの審判をりましたが、審判をやるにあたり、相当の講習を受けないといけません。それはやはり重要ですが、これをつくば市がダイレクトにやるというわけではなく、競技団体にやっていただくしかありませんので、つくば市から競技団体に連携を取っていただいて問題を解決していくということになろうかと思いますが、そういった形でよろしいでしょうか。

木村陸委員：

ありがとうございます。競技団体ごとに審判資格の等級の講座もありますので、つくば市でどうこうするのが難しいのは従々承知の上ですが、リーダー育成の部分も含めて、市が誘致してやっていくなど、そういった部分で促進していくきっかけ作りになるのではないかと思いますので、ご協力いただければと思います。

酒井会長：

ありがとうございます。他に何かございますか。

木村一男委員：

市民委員の木村一男です。一つ前の「資料1 計画の基本的考え方」で、「女性のスポーツ未実施率～」というところで、性別で分けた「女性」というワードが出てくるのですが、それに対して資料2ですと、成人のスポーツ活動の促進の(7)の「②働き盛り世代や子育て世代～」で「性別」と出てきます。これは女性だから社会に出づらいという意味合いなのではないでしょうか。今は男女平等と言われていて、男女が同じように子育てをする考え方になっています。あと、女性特有の取組があるのではないかと思ったのですが出てこないようですので、あえて「女性」とつけるべきなのかについて、疑問に思いました。

酒井会長：

このあたりについて、いかがでしょうか。

事務局：

こちらの課題は、アンケートから出てきたもので、どうしても女性でスポーツをする人が少なかったという現状があります。そういった中で、女性も含めて成人のスポーツ実施率を上げようと考え施策の中に記載しています。

木村一男委員：

そうでしたら、あえて「女性」と書く必要はないのではないかと疑問に思ったところです。

事務局：

これだけ課題が出てきた中で、大きな施策としてピックアップした形にしています。これらの課題すべてを施策にしてしまうと、何十個もの施策になってしまうので「成人」という一つの括りにしているという形です。

酒井会長：

これは難しい問題も色々と含まれていますね。片岡先生はいかがですか。

片岡委員：

課題の女性のスポーツの未実施率を減らす、という記載部分について、課題は女性において男性と比較してということだと思いますが、それを施策として女性のスポーツ実施率を増やすとなると、女性にとっての圧力とも捉えられかねない中で、資料2では気軽に取り組めるという方向で、性別に関わらずというところが引き取られているので、落とし所としては個人的に賛成です。

酒井会長：

わかりました。こちらは実際の課題に対して、施策では落とし所をこの辺りにしたいと言うところだと思います。よろしいでしょうか。

木村一男委員：

ありがとうございます。

酒井会長：

他にございませんか。この3つの重点取組はつくば市らしいということで

しょうけれども、萩原先生、いかがでしょうか。

萩原委員：

資料2の7ページに「ナッジ」という新しい文言が出てきましたよね。おそらく、ナッジ理論は行政の本懐であり、スポーツの本懐だと思うのです。上意下達で押し付けるのではなく、行政の仕事もこのようにそっと後押しする役割だと思います。3つの重点取組にもこういう表現を活かしていくと、ずっと議論をされてきている「つくば市らしさ」につながってくるのではないかと思います。是非、そのようなことも検討していただければありがたいと思います。

酒井会長：

ありがとうございます。この辺のキーワードを取り込むことも検討していただきたいと思います。

3つの重点取組について、富田委員はいかがでしょうか。

富田委員：

中学校の立場で考えると、重点取組2と重点取組3のところに関わってくると思っています。このプロジェクト自体はこれで十分に狙っている取組だと思うのですが、特に中学校の場合は、重点取組2の施策6の指導者の養成も含めて地域との連携が非常に重要になってくると思います。また、重点取組3のつくば市らしいスポーツ環境プロジェクトということで、是非お願いしたいのは、施設面と環境面を充実させていただきたいということです。そうすると、重点取組1にあるような「だれにでもやさしいスポーツ」に中学生や小学生が取り組むようになるのではないかと考えておりますので、お願いしたいと思います。

今後5年間という部分を考えていくと、中学校にとっては大きな転換期でありますので、その転換期をうまく市と連携しながら進めることができたら良いと考えております。よろしく申し上げます。

酒井会長：

実際の運用についてですね。ありがとうございます。石黒委員はいかがです

か。

石黒委員：

先ほど木村陸委員もおっしゃっていましたが、審判の育成はとても重要だと思っております。そのことはスポーツ協会の日本審判連盟のようなところと連携すれば、つくば市内で審判を取得するための講習会ができるのではないかと思います。

それから「やさしい」ということで考えると、この取組に入るかわかりませんが、事故における心肺蘇生等も重要な部分ではないかと思っています。例えば、何かあった時の対応の仕方を指導者や関係者の方がしっかりと学んでおくということが重要だと思います。

酒井会長：

野村委員は3つの重点取組について、何か気がついたことはありますか。

野村委員：

今のところありません。

酒井会長：

ありがとうございます。この辺で意見も出つくしたようです。

次に、審議事項第2号「令和4年度つくば市スポーツ推進計画施策等の評価について」ということですが、事務局よりご説明をお願いいたします。

【審議事項第2号】令和4年度つくば市スポーツ推進計画施策等の評価について

事務局：

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票についてご説明させていただきます。

令和4年度も、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けました。その中で人が多く集まるイベント等、残念ながら開催ができなかった事業もありましたが、各部署で開催に向けて対策を検討し、感染対策を講じた上

で規模を縮小して開催する等、スポーツ事業を進めてまいりました。令和4年度の原課評価につきましても、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を考慮した評価となっております。事業が実施できなかった場合や、次年度の実施に向けて対策等の検討をしていなかった場合の評価は「一」。事業は実施できなかったが、次年度の実施に向けて対策等の検討をした場合や、対策を行いながら事業を実施した場合等は、指標の目標値に実績が達しなかった場合でも「A」評価としております。

資料4の最後のページをご覧ください。こちらには、つくば市スポーツ推進計画の施策別原課評価結果のまとめをお示ししております。全体としては、S評価が14事業で17.1%、A評価が50事業で61%、B評価が5事業で6.1%、C評価が3事業で3.7%、評価することができなかった事業が6事業で7.3%、事業の終了や廃止は4事業で4.9%となっております。評価することができなかった事業は、事業の性質上評価できない事業もありましたが、新型コロナウイルスの影響で開催できなかったものもありました。

全体として令和4年度は、順調またはおおむね順調を合わせて約8割近くに達しており、つくば市スポーツ推進計画に基づく主な事業・取組はおおむね順調に行われたという結果となりました。しかし、当課としましては、スポーツ施策全体としてまだまだ課題があると考えています。この後、酒井会長進行のもとで、これらの評価は適切であるかどうか、ご審議あるいはご意見やご提案などをよろしくお願いします。

酒井会長：

ありがとうございます。事前にご意見をいただいているようですが、こちらを先にご説明していただいてもよろしいでしょうか。

事務局：

木村一男委員より、2つほどご意見をいただいております。お配りした様式1をご覧ください。木村一男委員よりNo2、No19、No25についてご質問とご意

見をいただきました。すべて「つくばスポーツフェスティバル&つくパラ 2022」について、実績の参加者数 603 人は何のカウントであるか、また参加者の合計であるとしたら、成人、子供、障害者を分けて数えないと、それぞれの評価ができないのではないか、というご意見をいただきました。

カウントした 603 人につきましては、当日イベントで受付した人数となっております。このイベントに関しましては、子ども、成人、高齢者、障害者を問わず、全ての人に体験して知ってもらい、スポーツを始めるきっかけや理解を深めることを目的に開催しております。より多くの方に体験していただくためのイベントであるため、子供、成人、障害者の内訳は把握しておりません。

酒井会長：

木村一男委員、いかがでしょうか。

木村一男委員：

全体 603 人の参加なら「まあまあですね」で終わらせるわけではなく、その中に障害者が何人いたのかわからないと、障害者の部分の評価ができないと思うのですが、それについてはどうでしょうか。

事務局：

障害者に関しましては、一見、わからない方もいらっしゃいますし、アンケートのようなもので障害の有無を確認することもいかがと考えます。ですから、この中に何人の障害者の方がいたかということピックアップするのは難しい状況です。

ただ、このスポーツフェスティバルというのは、障害者の方にたくさん来ていただくということももちろんですが、健常者が障害者スポーツを知ること一つ一つの目的になっており、色々な障害者スポーツを体験できるブースがあります。健常者が障害者スポーツを知ることによって支える立場になることや、参加された皆様に障害者スポーツを知っていただくという視点でも実施しています。

大久保委員：

確かに、大人と子供が何人来たかわかればいいと思いますが、No25 の調査票は、あくまでも障害者スポーツ活動の促進であって、障害者のスポーツ促進ではないので、障害者の数は必要ないのではないかと私は思いました。前の2つは、確かに成人と子供が分かれており、それぞれの数を把握できれば、より良いのではないかと思います。

木村一男委員：

評価できているのであれば、それで構いません。

酒井会長：

それでは、2つ目の説明をお願いします。

事務局：

続きまして、No37 スポーツを通じた（国際）交流の促進についてご意見がございました。事業を見直しした結果廃止したとのことですが、理由は何かというお話でした。担当課である国際都市推進課において、スポーツを通じた交流ではなく、文化芸術の観点に視点を置くと課内で方針が決まったとお聞きしております。また、今後10年の計画の中で、国際交流について盛り込んでおり、具体的な内容については今後検討してまいりたいと考えています。

木村一男委員：

前回の会議で出た話ですので、国際都市推進課で難しいのであればスポーツ振興課で行っても構いません。何か取組をするべきだとは思っていますので、よろしくをお願いします。

酒井会長：

ありがとうございます。

事務局：

補足でよろしいでしょうか。昨日、フェイスブックを見ていた際に、見つけ

たのですが、つくば市主催の国際交流イベントとして2019年まで開催していた「ワールドフットサル」についての記事を見つけました。私が見た記事によりますと、9月16日（土）に市内にあります、セキショウ・チャレンジスタジアムで「つくばワールドフットサル2023」国際交流フットサル大会ということで、復活開催するという情報がありましたのでお知らせします。こちらの主催は筑波大学つくばアクションプロジェクト「サッカーボールで繋がる TSUKUBA コミュニティ」が行っており、以前までのイベントを引き継いでいただいた形で開催するという情報を入手しました。今後、こちらのイベントについて、何らかの協力ができると考えています。また、この10年間の中で再びスポーツを通じた国際交流の事業を何かしらやっていければと考えています。

酒井会長：

情報共有、ありがとうございます。木村一男委員はよろしいですか。

木村一男委員：

はい。

酒井会長：

ありがとうございます。事前にいただいているご質問は以上ですが、この場でご質問やご意見等ございませんか。

結構目標値を設定していないのがありますが、これは何故でしょうか。目標値を設定せずに評価できるのかと疑問に思ったのですが、いかがでしょうか。

事務局：

少し説明させていただいたところですが、例えば教育委員会では、茨城県の指示に基づいて実施される事業もあり、目標値が定められていなかったり、修繕に関しても、随時、壊れたところを適切に修繕していくということについては、修繕何件というのは適さないということで目標値が設定されていません。例えば「順調に修繕ができた」「滞りなくできた」という場合には評価が良くなるという形で進めております。

木村一男委員：

もう一つよろしいでしょうか。No42 のつくばマラソン開催事業についてですが、令和3年度はオンライン開催で「A」評価。令和2年度は開催なしで「A」評価。令和4年度は開催があったにも関わらず、どうして「C」評価だったのかと思い内容を見ました。目標 18,500 人に対して 9,563 人で、この原因は下に書いてあり、会場のキャパシティの問題はその通りなのですが、そういった場合は目標値を修正できそうな感じがします。キャパシティが 10,000 人であれば、下げて改めて評価することはできないのでしょうか。

開催していなかったのに「A」だった評価が、開催して「C」になったというのはとても違和感があります。

事務局：

ご意見ありがとうございます。確かに木村委員のおっしゃる通り、もう一度検討をしたいと思います。

酒井会長：

ここは謙虚な評価で、私も少し気になったところです。

事務局：

重複してしまいますが、18,500 人というのは、コロナウイルスの前に開催していた定員の数で、令和4年度は定員 10,000 人で開催しました。実績に沿って定員が変わり、目標値も組み直させていただくということであれば、また評価も変わってくると思いますので、こちらは修正させていただければと思います。

酒井会長：

この評価はボランティア数に引っ張られるのでしょうか。

事務局：

ボランティア数も含めてということになります。

酒井会長：

ありがとうございます。評価の仕方に整合性を取ろうと思うと大変ですよ。

他に何かございませんか。

コロナの影響を勘案して評価できるというような形になってはいますが、令和5年度からはなくなるという解釈でよろしいですか。

事務局：

はい。

酒井会長：

令和4年度までということですね。他にございませんか。

木村陸委員：

はい。会長からもお話がありましたけれども、コロナの影響を受けているのは勿論理解できるのですが、コロナが明けてこの目標値に戻るものがどれくらいあるのかと想像した時に、例えば、令和元年の目標値に対して実績が半分くらいしかないものに対して、令和5年度と6年度に同じ目標値とした場合、果たしてそこまで追いつくのだろうかと思いました。大体はコロナ前の水準まで戻りつつあるので、今後の取組の課題については、コロナ以外の要因の部分も考えていいのではないかと思いました。

具体例を挙げてみると、No35のスポーツ合宿の誘致であれば、令和元年の目標値8,000人に対して、実績値5,597人となっており、パーセンテージでいうと70%くらいだと思います。令和4年度だと実績値1,186人なので15%くらいです。新型コロナウイルスの影響で減っていた部分が戻りつつあるので、今後の取組次第では、誘致をおこなえば8,000人近くになるのではないかとといった認識で受けとっているのですが、S評価やA評価を目指していくにしては、これだと弱いのではないかと思いました。会長のおっしゃる通りで、コロナとは違った視点で考えていく必要があるのではないかと思いました。以上です。

酒井会長：

スポーツだけではなく、全部そうだと思いますが、アフターコロナはコロナ

前には戻りませんので、今までと全く違う世の中になっていくと思います。ですから、木村陸委員の言うように、コロナの前の状況を基準にして考えるわけにはいかないと考えます。

でも、実際になってみないとわからないですから、令和5年の状況を見つつ、皆さんで議論していければいいのではないかと考えますが、事務局から何かございますか。

事務局：

ありがとうございます。確かに委員がおっしゃるようなコロナ前と同じ水準には戻れないのではないかと考えながら伺っておりました。新型コロナウイルスに関係なくスポーツ事業も動いてきておりますので、今年度はその上での実績、あるいは場合によっては目標値を見直すことも踏まえて進行管理できたらと考えています。

酒井会長：

よろしいでしょうか。そろそろ1時間になろうとしておりますが、萩原先生から何かございますか。

萩原委員：

今、木村陸委員から質問があったように、コロナ以前の総数で評価をしていくというのは大変難しい問題だと思います。昨年のつくばマラソンも3年ぶりに開催をしました。参加人数に関しても、大変議論を重ねました。まだコロナの影響も残っていますし、そのまま参加者が増えてくるという予測は全く立ちませんでした。

結果的には1万人を定員にフルマラソンを開催したのですが、200人ほど足りず、100%には達しませんでした。当たり前にコロナ禍以前のように、皆さんがスポーツに関心を持って参加してくださるかどうかというのは大変厳しい状況があります。一気にコロナ禍以前の状態のところまで持ってくることは不可能です。そういった意味では、総数を見直しながら指数の計算をしていくこと

を考える時期に来ていると思います。最終的にはコロナ禍以前の指数に持ってきても、もちろん問題はないと思いますけれども、その過程の中でコロナ禍以前の指数で少ないからといって評価を低くすべきではないと思います。もっと指数を下げて行って、正当な評価すべきだろうと思います。ご指摘のとおりだと思います。

酒井会長：

ありがとうございます。だいたい議論も出尽くしたようですので、本日の議事については、これで終了させていただきます。速やかな議事進行にご協力いただきありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

以上

令和5年度第3回つくば市スポーツ推進審議会次第

日時：令和5年9月11日（月）14時30分から

場所：つくば市消防庁舎3階 多目的ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

【審議事項第1号】第2次スポーツ推進計画策定について

①前回の審議会を受けての修正等

Ⅲ 計画の基本的な考え方

i 基本理念（概念図）

ii 基本目標（基本目標・基本戦略・成果指標）

Ⅳ スポーツ推進に向けた取組

i 施策の体系

ii 施策

②新たな審議事項

Ⅳ スポーツ推進に向けた取組

iii 3つの重点取組

V 計画の進行管理

i 計画の実施体制と進行管理

【審議事項第2号】令和4年度つくば市スポーツ推進計画施策等の評価について

4 その他

5 閉 会

【資料一覧】

○資料1 Ⅲ計画の基本的考え方

○資料2 Ⅳスポーツ推進に向けた取組

○資料3 V計画の進行管理

- 参考資料1 スポーツ推進計画策定審議会スケジュール（目次付）
- 参考資料2 スポーツ推進計画_ご意見対応表
- 資料4-1 令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票について
- 資料4-2 作成の手引き（令和4年度用）
- 資料4-3 つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧（R4）
- 資料4-4 令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

Ⅲ

計画の基本的考え方

Ⅲ 計画の基本的考え方

Ⅲ- i 基本理念

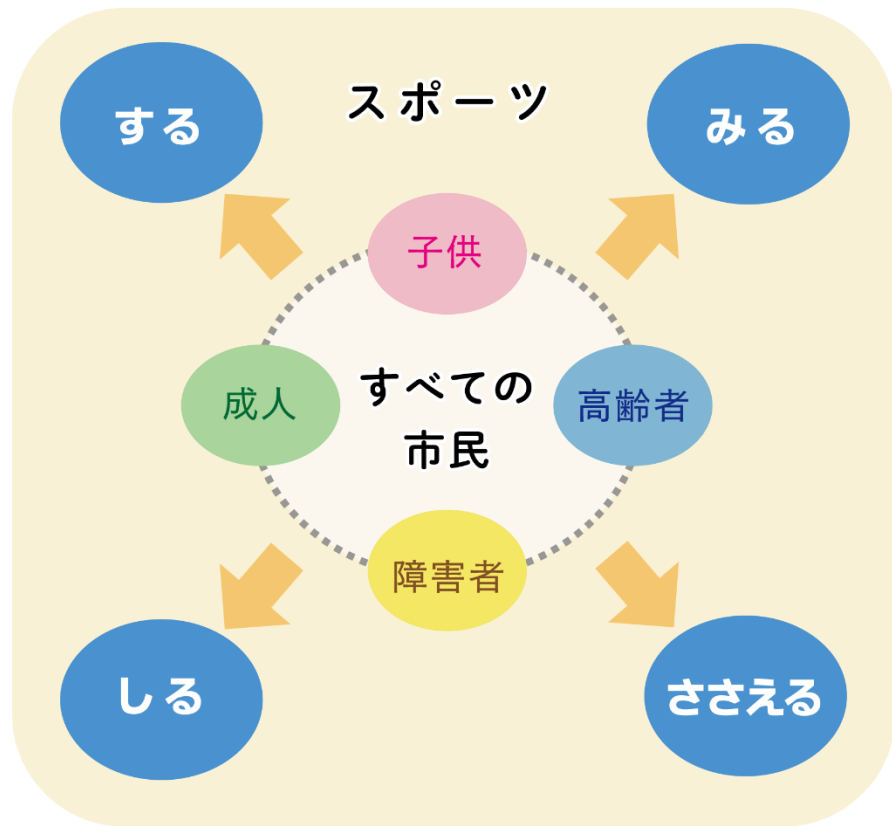
スポーツで“つながる”まち つくば

つくば市では、これまで「スポーツで“つながる”まち つくば」を基本理念とし、スポーツを通じて人と人、人と地域、文化・社会が“つながる”まちを将来像として、本市のスポーツを推進してきました。目まぐるしく変化する時代の流れのなかにあって、この基本理念は全ての市民が共有する普遍的なものにとらえることができます。本計画においては、この基本理念を引き継ぎ、新たな時代に対応したスポーツ文化、スポーツ環境を創造していくものとします。

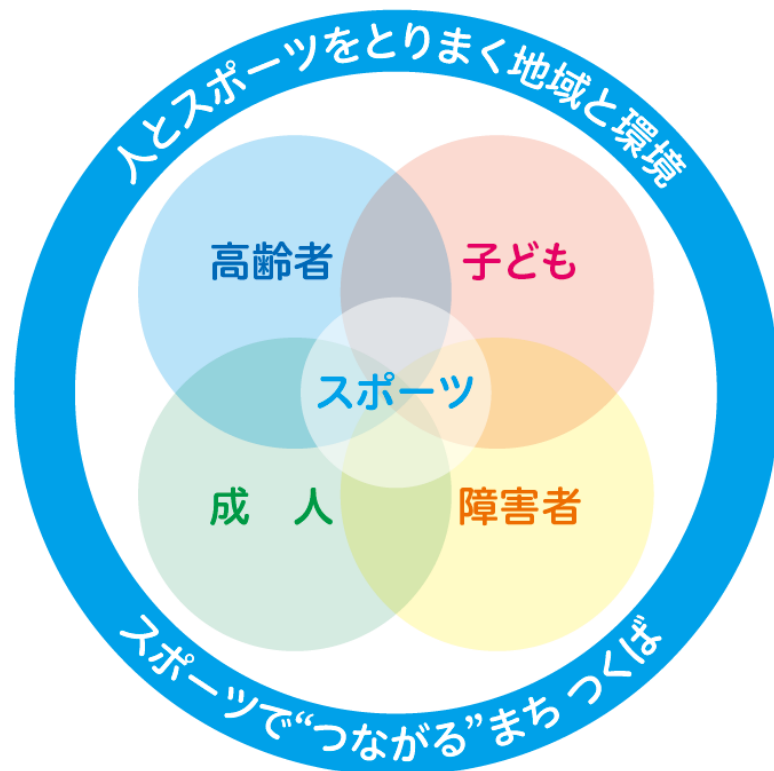
つくば市は、「する」「みる」「ささえる」に「しる」を加えた4つの視点でスポーツ活動を捉え、一人ひとりに応じた多様なかわり方で多くの市民が気軽にスポーツにふれ、しり、楽しむことで、生涯にわたり健康で豊かなスポーツライフが送れるよう、地域にあったスポーツ文化を創造します。

また、スポーツ活動を巡る様々な課題の解決に向けて、あらゆる主体が連携・協働し、スポーツを通して「つながり」「交流する」ことや、スポーツのもつ力で地域の活性化につなげるなど、つくば市らしいスポーツ環境を創造します。

スポーツで“つながる”まち つくば



参考：現計画概念図



Ⅲ- ii 基本目標（基本目標・基本戦略・成果指標）

本計画では、基本理念を踏まえ、基本目標と3つの基本戦略、成果指標を定めます。

1 基本目標

「スポーツで“つながる”まちつくば」を実現するため、次の基本目標を定めます。

すべての市民がスポーツにふれることができるよう、「する」「みる」「ささえる」「しる」視点でスポーツ文化の創造を目指すとともに、多様な主体の連携・協働により、市民が「つながり」、「交流」するつくば市らしいスポーツ環境を目指します。

2 基本戦略

基本目標に基づき、つくば市のスポーツ施策を展開していくため、個人、組織、環境の3つの視点をもって、次の基本戦略を定めます。

基本戦略1 ▶▶▶ スポーツ機会の創出

子供から成人、高齢者まで、すべての市民が障害の有無等に関わらず生涯にわたりスポーツをすることができる機会の創出を図ります。また、今までスポーツにふれる機会がなかった人達へスポーツを楽しむ機会・しる機会を提供します。さらに、これらスポーツを通じた交流を促進し、市全体でスポーツ文化の創造を目指します。

▼課題

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">○誰もが身近で気軽にスポーツを楽しめる環境の充実○生活環境の変化やコロナ禍による子供の体力低下の改善○学校部活動及び地域クラブ活動推進への生徒の不安解消○部活動改革を背景とした指導者の質の保障と量の確保○高齢者と障害者スポーツなどにおけるDXの推進○障害者スポーツを支える環境の充実○障害者スポーツの実施率・認知度向上の取組の推進○障害者スポーツイベント等の参加者の固定化の改善○2020 東京パラを契機とした取組とレガシーの継承 | <ul style="list-style-type: none">○成人のスポーツ実施率向上の取組の推進○女性のスポーツ未実施率を減らす取組の推進○「しる」スポーツという新たな視点での啓発○「みる」、「ささえる」スポーツの推進○スポーツ活動に無関心な層に訴求する取組の強化○スポーツ活動の情報発信の強化○SNSを活用した効果的な情報提供○りんりんロードや県サイクルツーリズム構想の活用 |
|---|--|

▼
取り組むべき施策

施策1 子供のスポーツ活動の促進

施策2 高齢者のスポーツ活動の促進

施策3 障害者のスポーツ活動の促進

施策4 成人のスポーツ活動の促進

施策5 スポーツをしる機会の提供

基本戦略2

スポーツ推進体制の強化（連携・協働）

スポーツ活動をささえる基盤である指導者や、地域やスポーツ団体、大学・研究機関、企業など多様な主体と連携・協働を深め、スポーツ推進体制の強化を図るとともに、スポーツを通してつながり、交流を図ることや、スポーツのもつ力で地域の活性化へとつなげていきます。

▼課題

- 指導者の質の保障と量の確保
- 運営スタッフの高齢化に対応した人材確保・世代交代の支援
- 学校部活動及び地域クラブ活動推進への生徒の不安解消
- 地域のスポーツ関係団体との連携・協働の強化
- 筑波大学と連携したスポーツ政策の推進
- りんりんロードや県サイクルツーリズム構想の活用
- スポーツの多様な力を活用したSDGs達成への貢献

取り組むべき施策

施策6 スポーツ団体・組織の基盤の強化及び指導者等の育成

施策7 多様な主体との連携・協働

基本戦略3

スポーツ環境の整備・充実

市民が身近で気軽にスポーツができる場所や、だれもが利用しやすい施設の整備・充実を図るとともに、安心してスポーツ活動ができる体制づくりに努め、つくば市だからこそ実現できるスポーツ環境を創造します。

▼課題

- 誰もが身近で気軽にスポーツを楽しめる環境の充実
- 市のスポーツ環境についての満足度向上の取組の推進
- 施設の安全性・快適性についての満足度向上の取組の推進
- 施設設備（公園設備）についての若い層の不満足減少の取組の推進
- 障害者スポーツを支える環境の充実
- バリアフリー化の推進・ノーマライゼーションの周知
- 2020 東京パラを契機とした取組とレガシーの継承
- 陸上競技場の整備推進
- 一堂に会する大会が開催できる規模の施設不足の解消
- ICT等を活用したスポーツ施設等予約システム導入等による利便性向上の取組の推進
- 学校体育施設の一般開放の不効率な運用の改善
- 平日日中の施設稼働率向上と休日・夜間の施設不足の解消
- りんりんロードや県サイクルツーリズム構想の活用
- 学校部活動及び地域クラブ活動推進への生徒の不安解消

取り組むべき施策

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理

施策9 つくば市らしいスポーツ環境の整備

施策10 スポーツ活動における安全の確保

3 成果指標

基本戦略の効果や進捗を図るための成果指標を設定します。

■基本戦略1 スポーツ機会の創出			
関連 施策	指標	現況値(R4)	目標値(R15)
施策1	児童生徒※の週3回以上のスポーツ実施率 *体育の授業や登下校を除く	小5:44.4% 中2:65.9% 高2:53.4%	▶ 小5:54% 中2:75% 高2:63%
	【指標の考え方】 子供のスポーツ活動を促進する施策により、児童生徒の週3回以上のスポーツ実施率について、それぞれ年1%程度増加を目指し、各学年で10%以上の増加を目指す。		
施策1	卒業後にも運動やスポーツをしたいと思う児童生徒の割合 *体育の授業や登下校を除く	小5:66.0% 中2:68.4% 高2:68.1%	▶ 小5:80% 中2:80% 高2:80%
	【指標の考え方】 子供のスポーツ活動を促進する施策により、学校卒業後も運動やスポーツをしたいと思う児童生徒を、それぞれ年1%程度増加を目指し、各学年で10%以上の増加を目指す。		
施策2 - 施策4	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	55.1%	▶ 65%以上
【指標の考え方】 コロナ禍においても実施率は維持できていることを踏まえ、現計画の目標が未達成だったことから、引き続き65%以上を目標に、週1回以上のスポーツを実施する市民の割合の増加を目指す。			
施策2 - 施策4 - 施策5	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	56.8%	▶ 80%以上
【指標の考え方】 市内で試合を観戦できる環境を整えるほか、各施策によってスポーツに関心を寄せる市民を増加させ、TVやインターネット等を含めて試合を観戦する割合の増加(市民の8割以上)を目指す。			
施策3	障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率	38.3%	▶ 50%以上
	【指標の考え方】 新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、障害者のスポーツ実施率が減少していることから、5年前の実施率(46.8%)まで戻していくことを視野に入れ、引き続き50%以上を目標に、週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションを実施する障害者の割合の増加を目指す。		
施策5 - 施策6 - 施策7	市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	-	▶ 20%
【指標の考え方】 スポーツイベントの充実(質・広報等含む)を図り、各施策によってスポーツに関心を寄せる市民を増加させ、参加率増加(市民の5人に1人が参加・20%)を目指す。			

※児童生徒：本指標では小学生(小学5年生)、中学生・義務教育学生(中学2年生、義務教育8年生)、高校生(高校2年生)を指す。

■基本戦略2 スポーツ推進体制の強化（連携・協働）

関連 施策	指標	現況値(R4)	目標値(R15)
施策5 - 施策6 - 施策7	市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率 【指標の考え方】 スポーツイベントの充実(質・広報等含む)を図り、各施策によってスポーツに関心を寄せる市民を増加させ、参加率増加(市民の5人に1人が参加・20%)を目指す。	-	20%
施策6	スポーツ協会の登録会員数 【指標の考え方】 新型コロナウイルス感染症等の影響を大きく受け、全体的な会員数(特に専門部会)が減少していることから、過去10年の内最大の会員数程度(H28:9,266人)まで登録者数を戻していくことを目指す。	6,929人	9,300人以上
施策6	スタートコーチ*養成講座受講者数 【指標の考え方】 運動部活動の地域移行を見据えつつ、指導者の資質の向上と確保を図るため、各施策により受講者数の増加を目指す。 (現在のスポーツ少年団登録団体数:93団体×2人=186人+部活動改革により予想されるスポーツ少年団加盟数:20団体×2人=40人 ≒230人)*既存の少年団に加入する場合と、新たに少年団を立ち上げる場合が考えられる。	(R3)82人	230人

*スタートコーチ(スポーツ指導者基礎資格):地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する者のこと(日本スポーツ協会)

■基本戦略3 スポーツ環境の整備・充実

関連 施策	指標	現況値(R4)	目標値(R15)
施策8 - 施策9 - 施策10	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度 【指標の考え方】 公共のスポーツ関連施設について満足(満足+やや満足)している割合を65%以上(週1回以上スポーツをしている市民と同割合)を目指す。	39.5%	65%以上

IV

スポーツ推進に向けた取組

IV スポーツ推進に向けた取組

IV- i 施策の体系

基本理念

スポーツで “つながる” まち つくば

基本目標

すべての市民がスポーツにふれることができるよう、「する」「みる」「ささえる」「しる」視点でスポーツ文化の創造を目指すとともに、多様な主体の連携・協働により、市民が「つながり」、「交流」するつくば市らしいスポーツ環境を目指します。

基本戦略

1

スポーツ機会の創出

2

スポーツ推進体制の強化
(連携・協働)

3

スポーツ環境の整備・充実

施策	施策の内容
<p>1 子供のスポーツ活動の促進</p> <p>課題1 課題3 課題4</p>	<p>(1) 学校体育を通じたスポーツ活動</p> <p>(2) 地域と連携したスポーツ活動</p>
<p>2 高齢者のスポーツ活動の促進</p> <p>課題1</p>	<p>(3) 健康づくりに役立つスポーツ活動</p> <p>(4) 交流や生きがいづくりにつながるスポーツ活動</p>
<p>3 障害者のスポーツ活動の促進</p> <p>課題1 課題2</p>	<p>(5) スポーツ環境の向上と認知度向上</p> <p>(6) スポーツ活動を支える仕組みづくり</p>
<p>4 成人のスポーツ活動の促進</p> <p>課題1</p>	<p>(7) 気軽に取り組めるスポーツ活動</p> <p>(8) 仲間づくりや地域活動につながるスポーツ活動</p>
<p>5 スポーツをやる機会の提供</p> <p>課題1 課題2 課題6</p>	<p>(9) すべての市民に向けたスポーツ・運動をやる機会の提供</p> <p>(10) スポーツ情報にふれる機会の拡充</p> <p>(11) つくば市らしいスポーツ文化の創出</p>
<p>6 スポーツ団体・組織の基盤の強化及び指導者等の育成</p> <p>課題3 課題4</p>	<p>(1) スポーツ団体・組織の支援</p> <p>(2) 指導者の養成と地域リーダーの育成</p>
<p>7 多様な主体との連携・協働</p> <p>課題1 課題2 課題7</p>	<p>(3) 多様な主体との連携</p> <p>(4) 諮問機関における調査・審議</p> <p>(5) 多様な連携を通じた啓発活動</p>
<p>8 スポーツ施設等の整備及び維持管理</p> <p>課題1 課題2 課題5</p>	<p>(1) スポーツ施設等の整備及び維持管理</p> <p>(2) バリアフリー化の推進</p> <p>(3) 施設の利便性向上</p>
<p>9 つくば市らしいスポーツ環境の整備</p> <p>課題1</p>	<p>(4) 地域特性を活かしたスポーツ環境の充実</p> <p>(5) スポーツツーリズムの推進</p>
<p>10 スポーツ活動における安全の確保</p> <p>課題3</p>	<p>(6) スポーツ活動における安全教育の推進</p> <p>(7) スポーツの事故・障害の予防等に係る啓発</p>

基本戦略 1 スポーツ機会の創出



子供から成人、高齢者まで、すべての市民が障害の有無等に関わらず生涯にわたりスポーツをすることができる機会の創出を図ります。また、今までスポーツにふれる機会がなかった人達へスポーツを楽しむ機会・する機会を提供します。さらに、これらスポーツを通じた交流を促進し、市全体でスポーツ文化の創造を目指します。

- 施策 1 子供のスポーツ活動の促進
- 施策 2 高齢者のスポーツ活動の促進
- 施策 3 障害者のスポーツ活動の促進
- 施策 4 成人のスポーツ活動の促進
- 施策 5 スポーツをしる機会の提供

◆施策

施策1 子供のスポーツ活動の促進

する

生涯にわたりスポーツに親しみ、心身ともに健康な生活を送るための基礎づくりとして、子供のスポーツ活動を促進します。

(1) 学校体育を通じたスポーツ活動

①子供のスポーツ活動が豊かなものとなるよう、学校体育の授業などを通して児童・生徒の体力と運動能力向上に努め、健康な体づくりや競技スポーツへの取組支援を行うとともに、「スポーツを好きな子供」の育成や、将来の夢を持つことの大切さ、スポーツに親しむことの動機づけにつなげるための取組を行い、子供の成長などに合わせたスポーツ活動を促進します。

(2) 地域と連携したスポーツ活動

- ②子供のスポーツ活動を支えてきた学校部活動においては、ニーズの多様化や教員の働き方改革を見据えつつ運動時間を確保し、安心してスポーツに取り組めるよう、各学校の実情に合わせながら、地域のスポーツクラブ、企業等、地域と連携して段階的な地域移行を推進します。
- ③地域連携のもと、幼児期から学童期、青年期まで、スポーツの習慣化につながるよう、体を動かすことの楽しさを体験できる機会を提供するなど、子供が安全に楽しく運動やスポーツに取り組める環境の充実を図ります。

施策2 高齢者のスポーツ活動の促進

する

高齢者の活動機会の増加や健康・体力の保持増進とともに、生きがいや仲間づくりなどにつながるよう、関係団体・組織と連携を図りながら、高齢者のスポーツ活動を促進します。

(3) 健康づくりに役立つスポーツ活動

- ①生涯にわたって健康や体力の保持増進につなげていけるよう、簡単に取り組める軽運動・ストレッチなどのプログラムの提供や、専門指導者による出前健康教室等を開催するなど、高齢者が運動できる機会を提供します。また、自宅等で気軽に運動したい方等に向けては、動画配信等を活用した取組などを推進します。
- ②高齢者の介護予防や認知機能の低下予防のほか、孤立防止や活力増進が期待されるeスポーツ等の新たな技術やサービスの活用について、関連団体と連携しながら検討します。

(4) 交流や生きがいづくりにつながるスポーツ活動

- ③高齢者の健康づくりと交流の場として、年齢や健康状態、適性に合わせたスポーツ大会等を開催し、参加促進を図るとともに、多世代で楽しめるレクリエーションスポーツの普及・支援を図ります。
- ④高齢者がいきいきと地域で過ごせるよう、シルバークラブやスポーツ振興会等におけるスポーツ活動を支援するなど、スポーツを通じて生きがいや仲間づくりにつながる機会を提供します。

施策3 障害者のスポーツ活動の促進

する

障害者がスポーツ・レクリエーションに取り組むことが、特別なことではなく日常的に当たり前であり、スポーツを通して障害者と健常者が共生する社会の実現を目指して、市民の相互理解及び障害者のスポーツ活動を促進します。

(5) スポーツ環境の向上と認知度向上

- ①障害の有無に関わらず、日常的にスポーツ施設を利用しやすい環境を整備するとともに、関連機関・団体と連携し、障害者が地域と交流する機会や健常者と共にスポーツができる機会の充実を図ります。
- ②すべての市民の障害者スポーツに対する認知度や興味を高めていくことを目指し、参加・体験型のスポーツイベントを実施して障害者の社会参画や交流を促進します。また、競技にフィーチャーしたイベントを行うなど、障害者スポーツの普及を図ります。

(6) スポーツ活動を支える仕組みづくり

- ③障害者スポーツをサポートする仕組みを構築するとともに、障害者スポーツに関わる人材を育成し、イベント等への参加促進とスポーツ活動の拡充につなげます。また、市スポーツ推進委員と連携し、地域に根付いた障害者スポーツの普及促進を図ります。
- ④障害者のリハビリテーションや就労支援、社会参画のきっかけづくりにつなげるため、eスポーツ等の新たな技術やサービスの活用について、関連団体と連携しながら検討します。

施策4 成人のスポーツ活動の促進

する

市民が生涯にわたり、より豊かに充実した生活が送れるよう、身近で気軽に、継続的にスポーツに取り組める機会を提供し、成人のスポーツ活動を促進します。

(7) 気軽に取り組めるスポーツ活動

- ①市民の健康や体力の保持増進を促進するため、スポーツ・運動教室、出前健康教室を開催するなど、生涯にわたりスポーツに取り組める機会を提供します。また、健康づくりを支援する各種アプリの活用を促進するなど、健康づくりの継続につなげるとともにスポーツへの参加促進を図ります。
- ②働き盛り世代や子育て世代などに向けては、開催時間や内容のみならず年代や性別、ライフスタイルなど、多様なニーズに対応したスポーツ機会を提供するとともに、オンライン等を活用して場所や時間に制限されることなく気軽にスポーツ・運動に親しむ機会を提供するなど、スポーツへの参加促進を図ります。

(8) 仲間づくりや地域活動につながるスポーツ活動

- ③地域資源を活用したスポーツイベント等の取組を通じて、世代間交流や仲間づくりにつながる機会を提供します。また、スポーツ協会のスポーツ振興会等の地域で活動している団体への支援を行い、世代交代を図るとともに、将来の地域活動を担う人材の育成を図ります。

子供から高齢者まで、現在スポーツを実施している人もしていない人も、すべての市民が多様なスポーツ・運動にふれる機会やスポーツについて学ぶ機会を提供するとともに、これらイベント等を通じた交流の場を提供します。

(9) すべての市民に向けたスポーツ・運動をやる機会の提供

①市民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベントやスポーツ大会、多様なスポーツを体験・学べるイベント等を開催するなど、様々なアプローチにより、市民がスポーツに親しみ、交流できる機会を提供します。また、スポーツに無関心な人の興味関心を喚起するような啓発活動、イベントや体験の場の提供など、スポーツをし、スポーツをはじめるきっかけとなる機会を提供します。

(10) スポーツ情報にふれる機会の拡充

②市で実施している事業に加え、各団体の活動情報を効果的により多くの人に届けられるよう、関連する団体と連携を図りながら、広報つくば、市WEBサイト、関連SNS等を活用し、情報発信を行います。

③ナッジの理論*を活用するなど情報発信について研究し、スポーツに取り組むきっかけがなかった市民やスポーツに積極的に触れてこなかった市民に向けて、効果的に情報を届ける新たな仕組みを検討します。

(11) つくば市らしいスポーツ文化の創出

④健康づくりとして気軽に取り組めるウォーキングやランニングについてはスポーツイベントの充実に努めるとともに、つくば市ならではの自然風景、歴史や街並みを楽しめるフットパスコース、ウォーキングコース等のPRを図り、身近なスポーツとしての活用を推進します。

⑤「マラソンを科学する」を大会テーマに掲げるつくばマラソンや、つくば霞ヶ浦りんりんロード・筑波山を活用したサイクリングなどのスポーツイベント、スポーツ大会の開催により、つくば市らしいスポーツ文化を創出し、スポーツを通じた交流を図ります。

⑥国際都市つくばにふさわしいスポーツを通じた国際交流機会の拡大を目指し、市内在住の外国の方を含め、すべての市民に多様な交流機会を提供します。

*ナッジの理論…ナッジは「そっと後押しする」の意で、行動科学の知見の活用により「人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法」のこと

基本戦略2 スポーツ推進体制の強化（連携・協働）



スポーツ活動をささえる基盤である指導者や、地域やスポーツ団体、大学・研究機関、企業など多様な主体と連携・協働を深め、スポーツ推進体制の強化を図るとともに、スポーツを通してつながり、交流を図ることや、スポーツのもつ力で地域の活性化へとつなげていきます。

施策6 スポーツ団体・組織の基盤の強化及び指導者等の育成

施策7 多様な主体との連携・協働

施策6 スポーツ団体・組織の基盤の強化及び指導者等の育成

ささえる

地域におけるスポーツの推進役である指導者、スポーツ団体などとの連携や支援をすることにより、スポーツ推進基盤を強化します。また、安全にスポーツ活動が行えるよう指導者やボランティアなどの人材の育成・養成を目指します。

(1) スポーツ団体・組織の支援

- ①つくば市スポーツ協会を構成している専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会のほかつくば市レクリエーション協会等への支援を行うとともに、多様な連携を図りながら、スポーツ・レクリエーションを推進します。
- ②総合型地域スポーツクラブ等と連携したスポーツの推進に関する事業を進めるとともに、市内スポーツ団体を支援するなど、スポーツ推進基盤を強化します。

(2) 指導者の養成と地域リーダーの育成

- ③スポーツ団体と連携して、「安全に、正しく、楽しく」スポーツを指導できる指導者や地域におけるスポーツ交流を促進するリーダーを育成するとともに、資質のある人材の確保に取り組み、特に次世代を担う若年層の指導者や女性指導者の積極的な登用を図ります。また、地域とのコーディネーター役であるスポーツ推進委員の活動を促進するとともに、地域で運動をはじめするためのきっかけづくりと組織的な活動の推進を図る運動普及推進員を養成します。
- ④子供への安全で安心な指導を行えるよう、スポーツ協会と連携した指導者講習会や県事業等を活用するほか、教員のための指導者研修会を実施します。また、部活動の地域移行を見据え、各団体の協力のもと、大学生等の若い世代や地域で活動する市民に向けて積極的に指導者講習会の受講を促します。

地域やスポーツ団体、大学・研究機関、企業など多様な主体と連携・協働し、スポーツ推進体制を強化するとともに、つくば市のスポーツにおける多様な可能性をともに創ります。

(3) 多様な主体との連携

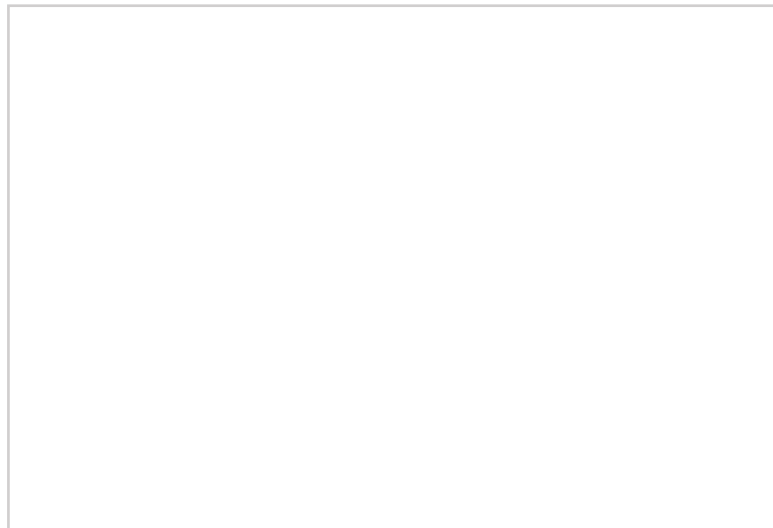
- ①本市の強みである大学や研究機関、企業、また、地域や各スポーツ団体・組織等と連携・協働体制を深め、「ささえる」スポーツの充実やスポーツの推進に取り組みます。
- ②大学や研究機関等との連携においては、各主体の知見を活用し、スポーツイベント等における最新デジタル技術の活用や、学校体育や市民の健康づくり・スポーツ活動におけるデータ分析の支援、国際都市つくばとしてホストタウンの登録や海外アスリートとの国際交流を推進するなど、更なる可能性の創出に向けた取組やSDGs達成に向けた取組などを検討します。
- ③大学や研究機関等によるスポーツ医・科学に関する知見を活用し、アスリート等に対する総合的なサポート体制を整備するとともに、競技力向上への活用を検討します。
- ④庁内においては、スポーツ振興課及び関係部署で情報共有を図り、連携を強化しながら、一体的にスポーツ活動に係る施策や事業等に取り組みます。

(4) 諮問機関における調査・審議

- ⑤スポーツ団体関係者、学識経験者などから構成する「つくば市スポーツ推進審議会」において、本市のスポーツの推進に関する事項を市長の諮問に応じて調査、審議します。

(5) 多様な連携を通じた啓発活動

- ⑥本市に関わりのあるトップスポーツチームやアスリート、大学等と連携し、次世代を担う子供を主体とした、多くの市民との交流の場を提供するなど、市民のスポーツ活動に対する効果的な啓発を推進します。
- ⑦多様な主体との連携・協働により、スポーツイベントやスポーツ大会等を開催・誘致するなど、地域の活性化と市民の「しる」機会の提供、「みる」スポーツへの興味関心及び応援の機運の醸成を図ります。



基本戦略3 スポーツ環境の整備・充実



市民が身近で気軽にスポーツができる場所や、だれもが利用しやすい施設の整備・充実を図るとともに、安心してスポーツ活動ができる体制づくりに努め、つくば市だからこそ実現できるスポーツ環境を創造します。

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理

施策9 つくば市らしいスポーツ環境の整備

施策10 スポーツ活動における安全の確保

身近で気軽にスポーツに親しめる場所の充実及びスポーツ施設の利用促進のため、スポーツ施設及び関連する公共空間の整備、維持管理を行います。

(1) スポーツ施設等の整備及び維持管理

- ①市民が安全で利用しやすいスポーツ環境を目指し、市民ニーズの把握に努めるとともに、市内のスポーツ施設の修繕や改修など適正な管理を行います。また、陸上競技場等の施設について、市民のニーズに合わせた整備を推進します。
- ②市民が運動やスポーツに親しみ、交流の場として利用できるよう、スポーツ関連施設や、健康の保持増進のための施設、野外活動・キャンプ等の施設の適切な管理・運営に努めるとともに、地域交流センター、ふれあいプラザ等の活用を図ります。

(2) バリアフリー化の推進

- ③すべての市民が利用しやすく、さらに障害者スポーツ競技者にとっても利用しやすい施設となるようバリアフリー化を進め、適切な維持管理を行います。また、障害者の利用も含めて広く施設に関する情報を共有します。

(3) 施設の利便性向上

- ④学校体育施設の利用については、運用・利用方法の見直しを図り、地域への開放を推進します。
- ⑤スポーツ施設の利用については、現行のシステムで可能な施設の空き状況の確認や、予約については継続実施するとともに、利用登録カード発行手続きの簡素化や支払い方法の見直しなど、ICTやIoTを活用したシステムを検討します。

施策9 つくば市らしいスポーツ環境の整備

する

みる

市や地域の特性を活用したスポーツ推進の取組を進め、つくば市独自のスポーツ環境の整備を行います。

(4) 地域特性を活かしたスポーツ環境の充実

- ①「ランナーに愛されるまち」「自転車のまちづくり」の一層の推進を図るため、ランニングに関する取組を周知するとともに、県のつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用促進活動と連携した広域レンタサイクル事業と市のレンタサイクルやシェアサイクル事業の実施・周知を進めます。
- ②多様な主体と連携して、地域スポーツを活かしたスポーツ観戦などの機会を提供し、「みる」スポーツの機運醸成を図ります。

(5) スポーツツーリズムの推進

- ③つくばマラソンや、つくば霞ヶ浦りんりんロード・筑波山を活用したサイクリングイベント等との連携や、筑波山周辺地域や自然環境の維持管理と活用を進めるなど、地域のスポーツ資源を活かして観光振興を図ります。
- ④フォレスト・アドベンチャーつくば等を活用し、観光の活性化に寄与するスポーツツーリズムを促進します。

施策10 スポーツ活動における安全の確保

ささえる

スポーツ活動を行う上での安全教育を徹底するとともに、関係機関と連携しスポーツの事故や障害の予防等に係る啓発に努めます。

(6) スポーツ活動における安全教育の推進

- ①市民が安全にスポーツ活動を行えるよう、運動・スポーツの指導者やスポーツ推進員の資格認定・講習会等において、安全管理に関する教育研修を徹底して実施します。
- ②学校において、子供たちが安全にスポーツ活動を行えるよう、教員のための指導者研修会を実施します。

(7) スポーツの事故・障害の予防等に係る啓発

- ③市内の研究機関や大学等によるスポーツ医・科学に関する知見を活用し、市民や指導者等に対するスポーツの事故やスポーツ障害の予防、スポーツ栄養学等に関する啓発等を支援します。

IV-iii 3つの重点取組

基本目標の実現に向けた、今後5年間で特に重点的に推進していく取組を3つ整理しました。

これらの重点的な取組の相互連携を図りながら計画を推進し、つくば市らしいスポーツ環境を目指します。また、それぞれの取組で、最終的に到達したい「みらいイメージ」を示します。

重点取組1

だれにでもやさしいスポーツのまちプロジェクト

令和4年度から検討を進めてきた、「スポーツを通して障害者と健常者が共生する社会を目指す取組」に基づき、より多くの障害者がスポーツ・レクリエーションに取り組むことができる環境づくりや、障害者スポーツ競技の更なる普及促進を通して、だれにでもやさしいスポーツのまちを目指します。

今後5年間で特に推進していくこと

(関連する施策)

施策3 (5) スポーツ環境の向上と認知度向上

- 日常的にスポーツ施設を利用しやすい環境の整備
- すべての市民のスポーツを通じた交流機会や社会参画の促進
- 団体等と連携した参加・体験型のスポーツイベントの実施
- 競技に関するイベント実施などによる障害者スポーツの普及促進 など

施策3 (6) スポーツ活動を支える仕組みづくり

- 障害者スポーツをサポートする仕組みの構築、障害者スポーツに関わる人材育成
- リハビリや就労支援、社会参画につなげるためのeスポーツ等の新技術の活用検討 など

施策8 (2) バリアフリー化の推進

- 施設のバリアフリー化の推進と適切な維持管理
- 障害者の利用も含めた施設に関する情報共有 など

みらいイメージ

スポーツを通して市民だれもが共生するやさしいまちが実現し、障害者も健常者も、日常的に当たり前スポーツ・レクリエーションを楽しんでいます。

スポーツを通じた多様な主体の連携・協働体制を充実し、未来を担う子供たちがスポーツに興味関心を持てるような機会づくりや、学校や地域で安全・安心に運動やスポーツができる環境づくりを進め、生涯にわたりスポーツに親しむことができる、スポーツでつながるまちを目指します。

今後5年間で特に推進していくこと

(関連する施策)

施策1 (2) 地域と連携したスポーツ活動

- 学校部活動の段階的な地域移行の推進
- 安全に楽しく運動やスポーツに取り組める環境の充実 など

施策6 (1) スポーツ団体・組織の支援

- 市スポーツ協会、市レクリエーション協会等への支援と連携
- 総合型地域スポーツクラブ等との連携、市内スポーツ団体の支援 など

施策6 (2) 指導者の養成と地域リーダーの育成

- 部活動の地域移行を見据えた、地域で活動する市民に向けての指導者講習会の促進 など

施策7 (5) 多様な連携を通じた啓発活動

- トップスポーツ選手等と次世代を担う子供の交流の場を提供 など

施策10 (6) スポーツ活動における安全教育の推進

- 子供への安全・安心な指導を行うための教員に対する指導者研修会の実施 など

みらいイメージ

多様な主体が連携しあい、学校部活動の地域移行など地域で育む子供のスポーツが充実し、すべての子供たちが自分にあったスタイルでそれぞれのスポーツ活動に取り組んでいます。

スポーツ施設等の適正な管理・整備と利便性向上の取組を通じて、より利用しやすい施設環境づくりを進めていくとともに、市や地域の豊富なスポーツ資源を活用した取組を推進することで、つくば市だからこそ可能なつくば市らしいスポーツ環境の構築を目指します。

今後5年間で特に推進していくこと

(関連する施策)

施策8 (1) スポーツ施設等の整備及び維持管理

- 市内の体育施設や公園の運動施設等のスポーツ施設の適正な管理
- 陸上競技場等施設について、市民のニーズに合わせた整備
- スポーツ関連施設や、健康の保持増進のための施設等の施設の適切な管理・運営 など

施策8 (2) バリアフリー化の推進(再掲)

- 施設のバリアフリー化の推進と適切な維持管理 など

施策8 (3) 施設の利便性向上

- 学校体育施設の運用・利用方法の見直しと地域への開放の推進
- スポーツ施設の利用に際してICTやIoTを活用したシステムを検討 など

施策9 (4) 地域特性を活かしたスポーツ環境の充実

- 「ランナーに愛されるまち」としてランニングに関する取組の周知
- つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用促進活動、レンタサイクル・シェアサイクルの実施
- 多様な主体と連携したスポーツ観戦などの機会提供 など

みらいイメージ

つくば市の豊富なスポーツ資源を活かした質の高いスポーツ環境が実現し、だれもが身近な場所で様々なスタイルでスポーツ活動を楽しんだり観戦したりしています。

V

計画の進行管理

V 計画の進行管理

V-i 計画の実施体制と進行管理

1 計画の実施体制

(1) 市内の連携体制の充実

本計画を着実に実施し、本市スポーツの振興を図るために、市民、つくば市、地域社会、地域スポーツ団体、学校、大学、研究機関など、それぞれの連携・協働を推進します。また、国、茨城県とも連携を強化します。

(2) 庁内の連携の強化

多岐に渡るスポーツ課題の解消に向け、より実効力を持って施策を進めていく上では庁内の連携が重要となることから、情報共有を図りながら関係部署の一層の連携の強化を図ります。

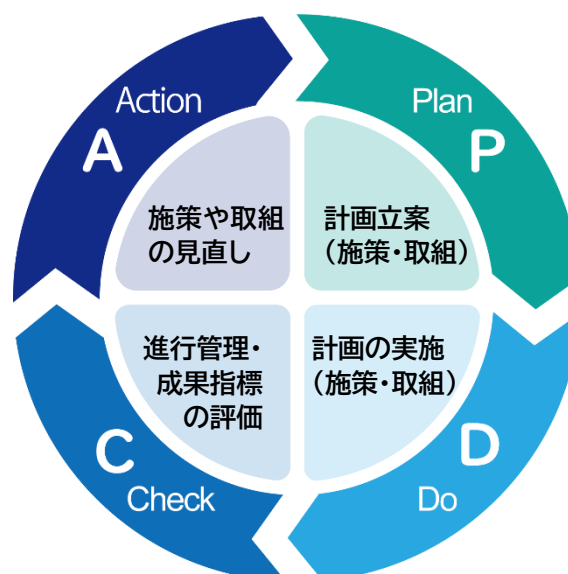
2 計画の進行管理

本計画の施策及び取組の実施においては、PDCA（Plan:計画、Do:実行、Check:評価、Action:改善）サイクルの考え方に基づいて適切な推進を図ります。

本計画の進行管理については、効果的な計画の実現に向けて、基本戦略ごとに設定した成果指標の達成状況等について数値を調査把握し、分析することで、計画の進捗状況の把握と評価を行います。また、達成状況に応じて取組の見直し検討等にも繋がります。

関係各課においては、毎年度の進行管理により施策の達成状況の把握と評価を行い、具体個別の取組については、事務事業評価との連携を図りながら、進捗を確認します。

評価結果については、つくば市スポーツ推進審議会に諮り、必要に応じて取組の見直しや改善、重点化を検討するなど、市民ニーズや市を取り巻く社会情勢等の変化にも柔軟に対応しつつ、計画を進めます。



スポーツ推進審議会における「スポーツ推進計画」審議スケジュール

参考資料1

スポーツ推進計画 目次	スポーツ推進審議会日程								パブリックコメント (約30日間) ※広報つくば掲載必要	令和5年度 第5回 2~3月	答申 (会長↓市長)
	令和4年度 第1回 6月29日	令和4年度 第2回 9月28日	令和4年度 第3回 3月15日	令和5年度 第1回 5月30日	令和5年度 第2回 7月21日	令和5年度 第3回 9月11日	令和5年度 第4回 ~11月上旬				
I つくば市スポーツ推進計画について											
I-i スポーツの意義と価値		●									
I-ii 計画策定の目的		●									
I-iii 計画の位置づけ		●									
I-iv 計画期間		●									
II スポーツを取り巻く現状と課題											
II-i スポーツを取り巻く社会情勢の変化			●								
II-ii これまでの取組の実績と評価			●					素案		原案	
II-iii スポーツを取り巻く現状			●					案			
II-iv 課題の整理			●	●							
III 計画の基本的な考え方											
III-i 基本理念				●				概念図			
III-ii 基本目標(基本目標・基本戦略・成果指標)				●	●						
IV スポーツ推進に向けた取組											
IV-i 施策の体系				●	●	●					
IV-ii 施策					●	●					
IV-iii 3つの重点取組						●					
V 計画の進行管理											
V-i 計画の実施体制と進行管理						●					

■スポーツ推進計画に係るご意見対応表

令和5年度 第2回つくば市スポーツ推進審議会 議事対応表

No	頁	意見	対応
全体を通したご意見			
1	-	<p><文言の使い分けについて></p> <p>○「こども」の表記が混在しているので統一していただきたい。</p> <p>○「学生」と「生徒（児童生徒）」について、学生は大学生、生徒は中高生というイメージがあるので、使い方を確認いただきたい。（齊藤委員）</p>	<p>○「こども」の表記については、現計画では「子ども」を使用しておりましたが、第2次計画からは漢字の「子供」表記で統一致します。</p> <p>○学校教育法及び文科省の表記に基づき、小学生、中学生及び高校生を指す場合は「児童生徒」の表現で統一致します。</p> <p>○また、その他文言の使い方や誤字脱字、用語等の全体的な調整につきましては、今後計画をとりまとめていく際に見直しを行ってまいります。</p>
資料1：Ⅲ 計画の基本的な考え方			
2	1 2 3	<p><概念図・基本戦略1について></p> <p>・ 現計画の概念図を見て、「基本戦略1 ライフステージに応じたスポーツ機会の創出」の施策1～4がライフステージを始めとする区分をしている形がみえるのは善し悪しがあると感じた。障害のある方は、成人、高齢者、子供と様々であり、ライフステージで分けることが明示されない方が良い。ライフステージの中に障害者が入っていること、これをどう位置づけていくかというのは、丁寧に書いていくべきである。（片岡委員）</p>	<p>ご意見を踏まえまして、「ライフステージ」という表現を見直すとともに、新たな概念図案を作成致しました。</p> <p>施策としては「子供」「高齢者」「障害者」「成人」を対象に進めていきたいと考えておりますが、ライフステージという視点で括ることなく、それぞれ一人ひとりに応じたという観点で施策を推進していきたいと思えます。</p> <p>OP.1 基本理念 中段2行目 「つくば市は、「する」「みる」「ささえる」に「しる」を加えた4つの視点でスポーツ活動を捉え、ライフステージに応じて～」⇒「つくば市は～一人ひとりに応じた」に修正</p>
3	1 2 3	<p><概念図・基本戦略1について></p> <p>・ 障害者スポーツの入口部分は子供から高齢者までライフステージのどこからでも入れるというイメージの方がフィットすると思う。（齊藤委員）</p>	<p>OP.3 基本戦略1 表題「ライフステージに応じたスポーツ機会の創出」⇒「<u>スポーツ機会の創出</u>」に修正</p> <p>OP.3 基本戦略1 方針文「子供から成人、障害者、高齢者の方まで、すべての市民がライフステージに応じ、生涯にわたり～」⇒「<u>子供から成人、高齢者まで、すべての市民が障害の有無等に関わらず生涯にわたり～</u>」に修正</p>

No	頁	意見	対応
資料 2 : IV スポーツ推進に向けた取組（及び資料 3 : V 計画の進行管理）			
4	7 10	<p><国際交流について></p> <ul style="list-style-type: none"> 現在は取組がないということだが、国際的なスポーツイベントを今後開催する場合、ホームタウンを置くことや、それを通じた交流が考えられ、更には多様なふれあい・しる機会の提供にも繋がる。近いところでは 2025 年のデフリンピックなども契機となるのではないかと。計画に積極的に入れ、一歩踏み出すきっかけになれば良いと思う。(齊藤委員) 	<p>ご意見の通り、国際交流は重要であり、どの観点も大切であるため、国際交流とスポーツを通じたダイバーシティ&インクルージョンの2つの観点での取組を追加・修正致しました。</p> <p>○追加</p> <p>P.7 施策5 スポーツをしる機会の提供の(11)つくば市らしい文化の創出に⑥として、ダイバーシティ関連の取組を追加致しました。「⑥国際都市つくばにふさわしいスポーツを通じた国際交流機会の拡大を目指し、市内在住の外国の方を含め、すべての市民に多様な交流機会を提供します。」</p>
5	7 10	<p><国際交流について></p> <ul style="list-style-type: none"> 学生同士でコミュニティが出来ている部分があると思うので、学生(大学)から始めて広げていくのはどうか。(木村陸委員) 	<p>○修正</p> <p>P.10 施策7 多様な主体との連携・協働の(3)多様な主体との連携の②の内容を海外アスリート等の国際交流関連の取組に修正致しました。「②大学や研究機関等との連携においては、～国際都市つくばならではのスポーツを通じた多様な国際交流を推進するなど～」⇒「②大学や研究機関等との連携においては、～<u>国際都市つくばとしてホストタウンの登録や海外アスリートとの国際交流を推進するなど</u>～」に修正</p>
6	7 10	<p><国際交流について></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流都市ならではの所は入れるべきである。その際に、海外からアスリートが来る等といった国際交流と捉えるのか、市に住んでいる外国にルーツがある方が一緒にスポーツをする等のスポーツを通じたダイバーシティ&インクルージョンという考え方もある。どういう風に捉えていくかは検討しても良い。(片岡委員) 	
7	10 資料3	<p><市内の連携について></p> <ul style="list-style-type: none"> 外部の連携は勿論、まずは市内の連携が大切である。スポーツに関する案件が出た際に関係部署が一堂に会して議論し、回答するような場が重要であり、それがつくばらしさだと感じる。計画はわかりやすくなっているので、その辺りをもう一歩踏み込んでいただきたい。(萩原委員) 	<p>ご意見の通り、スポーツ振興を図るとともに、多岐にわたるスポーツ課題の解消のためには、市内連携は重要であると考えております。</p> <p>そのため、P.10 施策7 多様な主体との連携・協働の(3)多様な主体との連携の④に新しく取組を追加致しました。</p> <p>「④市内においては、スポーツ振興課及び関係部署で情報共有を図り、連携を強化しながら、一体的にスポーツ活動に係る施策や事業等に取り組みます。」</p>
8	10 資料3	<p><市内の連携について></p> <ul style="list-style-type: none"> 施策7 多様な主体との連携・協働は外部をイメージしていると思うが、市内の連携についても盛り込むことを検討いただきたい。(酒井会長) 	<p>さらに、「V 計画の進行管理」において、今後計画を実行していく上で、「(2)市内の連携の強化」が重要として、市内連携の強化を図り、施策を進めて行く旨を記載しました。今後は、より一層の連携の強化に努めてまいります。</p>

令和 4 年度

つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票について

つくば市スポーツ推進計画施策の評価について

1 計画の進行管理

つくば市スポーツ推進計画に掲げた施策及び事業・取組に目標を設定して事業を実施し、実施状況の把握、課題の抽出等の評価を行い、解決策の検討及び次の施策展開への反映など、つくば市スポーツ推進計画の実施に向けた政策の効果的な実施に資するための取組であり、計画(Plan)－実施(Do)－評価(Check)－改善(Action)というマネジメントサイクルに基づいて、政策の推進を図り、計画を実現することを目的として行うものである。

2 計画の構成

本計画の基本的な考え方は、①基本理念、②基本方針、③基本目標、④数値目標及び⑤基本戦略から構成されている。

また、本計画は基本理念及び基本方針を実現するために、①基本目標、②基本戦略、③施策及び④事業・取組の四層の体系から構成されている。

そして、最後に本計画を策定したのち5年の間に、①施策の推進のために取り組む事項と②連携体制の強化について定めている。

3 評価の対象

評価の対象は、つくば市スポーツ推進計画に掲げた全ての事業・取組を対象とする。

4 評価の方法

各事業・取組の担当課が、自己評価した結果が妥当かどうか審議し、評価は事業の成果や有効性及び効率性を踏まえて、総合的に判断する。

原 課 評 価	
S	順調に進んでいる (達成度が100%以上)
A	おおむね順調に進んでいる (達成度がおおむね80%以上100%未満)
B	やや遅れている、改善事項がある (達成度がおおむね60%以上80%未満)
C	遅れている、大幅な改善事項がある (達成度がおおむね60%未満)
—	評価することができない事業である、終了、廃止

つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票 作成の手引き（令和 4 年度用）

◆作成方法◆

- 1 「スポーツ推進計画進行管理調査票」の令和 4 年度事業一覧シートから自課事業の通し番号を確認してください。
- 2 確認した通し番号を入力シートに入力してください。オレンジのセルが自動で入力されます。
- 3 令和 3 年度調査票シートと次の「記入内容について」を参考に、入力シートの空欄（白）部分へ令和 4 年度の自課の事業・取組を入力してください。
- 4 通し番号 83 からの「施策推進のために取り組む事項及び連携体制の強化」については、作成者職氏名及び R 4 年度の活動実績のみを入力してください。

※入力シートの内容は調査票①～⑩シートに反映されます。印刷ズレ等がないか確認をお願いします。

※実績などの数値について、事務事業評価や他計画との整合性に注意して作成してください。

◆記入内容について◆

※入力については、指定がない限り「入力シート」へお願いします。

1 事業概要

① 事業概要

事業の活動内容や活動計画に変更があれば「令和4年度事業一覧シート」に赤
で修正してください。

②令和4年度活動実績

令和4年度の活動状況や実績について、具体的な数値を含めて、簡潔に記入し
てください。

2 指標

①目標値

目標値は既に入力されていますが、前年度の実績と大きく差がある場合は、目
標値を見直し、修正してください。ただし、値の上限が決まっている場合等はこ
の限りではありません。

なお、以下の場合は理由を「1-②令和4年度活動実績」へ記載してください。

- ・ 目標値を設定しない（できない）場合
- ・ 目標値を前年度より低く設定する場合

「指標種別（成果指標と活動結果指標）について」

- 成果指標…事業を実施した結果として生じる効果を表すもので、事業の対象者（市民等）からの視点で、事業の効果を数値で表したものの。
例) 教室参加者の満足度、体力テストの数値
- 活動結果指標…対象(市民等)に対して提供したサービスの量を表すもので、具体的な行政活動の回数、頻度、量、時間など、市が行なった実施量を数値で表したものの。
例) 教室の参加人数、イベントの実施回数

②実績値

指標に対する令和4年度の実績を入力してください。

※新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業であっても、そのまま実績を入力してください。

3 予算額／4 決算額

年度末における事業・取組の予算額（収入・支出）及び決算額（収入・支出）を記入してください。団体への補助金や負担金が含まれる場合は、以下のように括弧書きしてください。

3予算額				4決算額							
歳入額	0	千円	支出額	19,000(スポーツ協会補助金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	17,612(スポーツ協会補助金)	千円

5 結果

令和4年度において、活動したことによりどのような成果等が生まれたか「1-②令和4年度活動実績」と「2指標」を基に、具体的な数値を含めて、簡潔に記入してください。

6 課題・今後の取組

事業を1年間実施してきた中での課題や問題点、今後の取組予定等を記入してく

ださい。また、次年度中に事業廃止の検討を行う場合や、事業が今年度で終了する場合は、その旨を記載してください。

7 原課評価

評価基準を参考に、あてはまる評価を次のS～C（及び-）から選択してください。

原課評価	評価基準
S	順調に進んでいる (指標の達成度が100%以上である)
A	①概ね順調に進んでいる ②新型コロナウイルス等の影響は受けたが事業を実施することができた (①指標の達成度が80%以上100%未満である ②「①」の指標には届かなかったが感染対策を行ったり、実施方法をかえるなどして事業を実施することができた)
B	やや遅れている、改善事項がある (指標の達成度が60%以上80%未満である)
C	遅れている、大幅な改善事項がある (指標の達成度が60%未満である)
—	評価することができない事業である (終了、廃止、天候や新型コロナウイルス等の影響で実施することができなかった 等)

8 評価理由

評価した理由について、簡潔に記入してください。「7 原課評価」で次の評価をした場合は、評価の理由を具体的に記載してください。

【特に詳しく記載していただきたい評価】

- ・新型コロナウイルス等の影響を受けつつも評価「A」とした場合の取組状況
- ・「評価することができない事業である」として評価「-」を選択する場合の理由。さらに新型コロナウイルスの影響や悪天候による事業の中止など不可抗力で事業を実施できなかった場合で、準備等の取組を行った場合、その取組状況

9 新型コロナウイルス感染症の影響について

①影響の有無

事業活動状況や実績値への新型コロナウイルス感染症の影響の有無について、下記の中から選択してください。

ア 影響あり

イ 影響なし

②影響の度合い

「①影響の有無」でアを選択した場合、事業への新型コロナウイルス感染症の影響度合いを下記の中から選択してください。

ア 1～3割程度影響があった

(例：施設について、開館日が例年と比べ8割程度となった。)

イ 4～6割程度影響があった

(例：年間10回開催予定のイベントを5回中止した。)

ウ 7～9割程度影響があった

エ 事業を完全に中止した

③対策

事業の実施に向け、新型コロナウイルス感染症への対策の有無について、下記の中から選択してください。

ア 対策を行った（開催時期をずらす、人数制限を設けるなど）

又は 次年度の実施に向け対策を検討した

イ 対策を行っていない（例年同様に事業を実施した）

又は 次年度の実施に向け特に検討していない

④対策の内容

新型コロナウイルス感染症の対策について、具体的に記載してください。

つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧 (R4)						
No.	施策1	担当課	主な事業・取組	原課評価		
				R4	R3	R2
1	成人のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	スポーツのイベント、大会、フォーラム等の開催	B	A	A
2	成人のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	スポーツの日の実施	A	B	A
3	成人のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	スポーツ教室・運動教室の開催	A	A	A
4	成人のスポーツ活動の促進	健康増進課	スポーツ教室・運動教室の開催	A	A	A
5	成人のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	スポーツ関連情報の提供	A	A	S
6	成人のスポーツ活動の促進	健康増進課	つくば健康マイレージ事業	B	B	A
7	成人のスポーツ活動の促進	スポーツ施設課	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進	A	A	A
8	成人のスポーツ活動の促進	公園・施設課	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進	A	A	A
9	成人のスポーツ活動の促進	地域支援課	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進	C	A	S
10	成人のスポーツ活動の促進	教育施設課	学校体育施設の開放	S	S	S
11	子どものスポーツ活動の促進	学務課	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	—	A	A
12	子どものスポーツ活動の促進	学び推進課	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	A	B	B
13	子どものスポーツ活動の促進	教育総務課	全国大会・関東大会出場補助事業	A	A	A
14	子どものスポーツ活動の促進	学び推進課	児童・生徒の体力の向上	A	A	B
15	子どものスポーツ活動の促進	健康教育課	体力テストの実施	S	S	-
16	子どものスポーツ活動の促進	こども育成課	放課後子ども教室の推進	S	S	S
17	子どものスポーツ活動の促進	こども育成課	放課後児童クラブの育成・支援	A	A	A
18	子どものスポーツ活動の促進	学び推進課	体育授業への外部指導員等の派遣	S	A	-
19	子どものスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施	A	A	A
20	高齢者のスポーツ活動の促進	高齢福祉課	いばらきねりんスポーツつくば市大会の開催	A	A	A
21	高齢者のスポーツ活動の促進	高齢福祉課	高齢者いきいき健康アップ事業	事業終了	事業終了	B
22	高齢者のスポーツ活動の促進	健康増進課	いきいき運動教室・元気はつらつ運動教室の開催	A	A	A
23	高齢者のスポーツ活動の促進	健康増進課	出前体操教室の開催	A	A	A
24	高齢者のスポーツ活動の促進	高齢福祉課	シルバークラブでのスポーツ活動の促進	A	A	A

つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧（R4）						
No.	施策1	担当課	主な事業・取組	原課評価		
				R4	R3	R2
25	障害者のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	障害者のスポーツイベントの実施	A	A	A
26	障害者のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	障害者のためのスポーツ教室の実施	S	A	A
27	障害者のスポーツ活動の促進	スポーツ振興課	障害者スポーツのサポーターや指導者の育成支援	A	B	S
28	障害者のスポーツ活動の促進	障害者地域支援室	障害児スポーツ教室の開催	A	A	A
29	障害者のスポーツ活動の促進	障害者地域支援室	おひさまサンサン生き生きまつりの開催	—	—	—
30	障害者のスポーツ活動の促進	つくば市社会福祉協議会	「みんなで DO! スポーツ」の開催	A	A	A
31	障害者のスポーツ活動の促進	障害者地域支援室	体験乗馬療法事業の開催	A	—	—
32	スポーツを通じた交流の促進	スポーツ振興課	地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツ交流の支援	A	A	A
33	スポーツを通じた交流の促進	地域支援課	地域交流センターの活用	A	A	B
34	スポーツを通じた交流の促進	地域支援課	ふれあいプラザの活用	A	A	A
35	スポーツを通じた交流の促進	観光推進課	スポーツ合宿の誘致	B	A	A
36	スポーツを通じた交流の促進	観光推進課	森林体験パークの整備及び通年型観光拠点の構築	A	A	A
37	スポーツを通じた交流の促進	国際都市推進課	スポーツを通じた国際交流	—	—	—
38	スポーツをささえる組織基盤の強化	スポーツ振興課	つくば市体育協会との連携及び事業の補助	A	A	A
39	スポーツをささえる組織基盤の強化	スポーツ振興課	つくば市レクリエーション協会との連携及び事業の補助	S	S	S
40	スポーツをささえる組織基盤の強化	教育総務課	つくば市小学校体育連盟との連携及び事業の補助	A	A	A
41	スポーツをささえる組織基盤の強化	教育総務課	つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助	A	A	A
42	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	スポーツ振興課	つくばマラソン開催事業	C	A	A
43	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	スポーツ振興課	つくば健康マラソン大会開催事業	A	A	A
44	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	スポーツ振興課	つくば学園ウオーラリー大会開催事業	A	A	A
45	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	健康増進課	「つくばウォークの日」運動普及事業	A	A	A
46	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	観光推進課	フットパスコースの設定、PRの取組	A	A	A
47	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	秘書課	スポーツイベントに関するつくば市の後援名義の使用承認	A	A	A

つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧（R4）						
No.	施策1	担当課	主な事業・取組	原課評価		
				R4	R3	R2
48	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	スポーツ施設課	陸上競技場の整備検討	A	B	A
49	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	スポーツ施設課	体育施設の改修及び維持管理	A	A	A
50	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	公園・施設課	公園の運動施設の改修及び管理	—	A	—
51	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	道路管理課	ベデストリアンデッキ等の歩行空間・遊歩道の整備、維持管理及び活用	A	A	A
52	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	サイクルコミュニティ推進室	自転車のまちづくりの推進	B	B	C
53	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	防犯交通安全課	自転車のまちづくりの推進	A	A	A
54	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	スポーツ施設課	体育施設耐震化事業	事業終了	事業終了	S
55	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	スポーツ施設課	つくばウェルネスパークの管理	A	A	A
56	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	教育施設課	小学校・中学校の施設（体育施設含む）の耐震改修事業	事業終了	事業終了	事業終了
57	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	教育施設課	学校施設開放事業	S	S	S
58	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	スポーツ振興課	県立高等学校体育施設開放事業	S	A	S
59	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	文化芸術課	つくばカピオ管理運営事業	A	A	A
60	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	健康増進課	いきいきプラザの活用	S	A	A
61	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	観光推進課	野外活動・キャンプ等関連施設の維持管理	A	A	-
62	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	観光推進課	筑波山麓の整備・筑波山周辺観光の活性化	A	A	A
63	スポーツ指導者の養成及び資質の向上	スポーツ振興課	スポーツ推進委員協議会の組織及び研修	B	A	-
64	スポーツ指導者の養成及び資質の向上	スポーツ振興課	つくば市体育協会及び関係団体の指導者の養成及び資質の向上	S	A	-
65	スポーツ指導者の養成及び資質の向上	学び推進課	学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施	—	A	—
66	スポーツ指導者の養成及び資質の向上	学び推進課	学校体育コーディネート事業	C	A	B
67	スポーツ指導者の養成及び資質の向上	健康増進課	運動普及推進員の養成講座及び活動の実施	A	A	A
68	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供	スポーツ振興課	スポーツ教室開催事業	A	A	A
69	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供	健康増進課	出前体操教室の開催	A	A	A
70	スポーツ活動における安全の確保	スポーツ振興課	スポーツ指導者の資格認定や講習会における安全教育の徹底	A	A	-
71	スポーツ活動における安全の確保	学び推進課	中学校武道等指導推進	—	—	—

つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧 (R4)						
No.	施策1	担当課	主な事業・取組	原課評価		
				R4	R3	R2
72	スポーツ団体との連携・協働	スポーツ振興課	スポーツ推進審議会事業	S	S	S
73	スポーツ団体との連携・協働	スポーツ振興課	民間スポーツ団体との協定締結及び地域連携	A	A	A
74	大学及び研究機関との連携・協働	スポーツ振興課	つくばマラソン開催事業	S	A	A
75	大学及び研究機関との連携・協働	スポーツ振興課	筑波大学とのスポーツ推進のための協定締結に基づく協議会の開催	A	A	A
76	大学及び研究機関との連携・協働	オリンピック・パラリンピック推進室	2020年東京オリンピック競技大会に向けてのスイス選手団事前キャンプ等に関する連携	事業終了	S	S
77	行政部局間の連携の促進	スポーツ振興課	つくば市未来構想・戦略プラン等の企画・策定における連携・協議	S	A	S
78	行政部局間の連携の促進	スポーツ振興課	スポーツ推進計画の策定	A	A	S
79	国、茨城県等との連携	スポーツ振興課	国のプロジェクトの活用	S	S	A
80	国、茨城県等との連携	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブ・拠点クラブの支援	A	A	A
81	国、茨城県等との連携	学び推進課	学校体育関連事業との連携	A	A	-
82	国、茨城県等との連携	サイクルコミュニティ推進室	つくばりんりんロード活性化レンタサイクル事業	A	A	A
以下、令和3年度から原則評価は行わず、審議会において審議も行わない。 (No.82までのスポーツ施策を推進するために取組むべき事業であるため)						
83	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	陸上競技場の整備検討			A
84	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	障害者のためのスポーツの推進に関する事業及び連携体制の構築			S
85	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	スポーツに関する調査研究の継続的な実施と行政評価等への反映			A
86	施策の推進のため に取り組む事項	国体推進課	いきいき茨城ゆめ国体及びいきいき茨城ゆめ大会に向けた対応			
87	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	河川敷などのスポーツ的利用について関係機関との連携及び調整			A
88	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	つくば市SDGsの対応			A
89	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	スポーツ施設のユニバーサルデザインへの対応			S
90	施策の推進のため に取り組む事項	公園・施設課	スポーツ施設のユニバーサルデザインへの対応			C
91	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	ランニングなどの普及啓発と環境の整備			S
92	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	子どものスポーツを推進するための連携体制の検討			A
93	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	安心・安全なスポーツ環境の充実			S

つくば市スポーツ推進計画進行管理一覧（R4）						
No.	施策1	担当課	主な事業・取組	原課評価		
				R4	R3	R2
94	施策の推進のため に取り組む事項	教育施設課	安心・安全なスポーツ環境の充実			S
95	施策の推進のため に取り組む事項	公園施設課	安心・安全なスポーツ環境の充実			A
96	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	本市のスポーツ関連部局による連携体制の強化			A
97	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	スポーツ振興課による情報の集約体制の確立			A
98	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	筑波大学とのスポーツ推進のための連携促進			A
99	施策の推進のため に取り組む事項	スポーツ振興課	国及び茨城県の関連施策との連携の促進			A

つくば市スポーツ振興計画 施策別原課評価結果まとめ

施策		事業数	平成4年度 施策別原課評価結果							
			評価 S (順調)	評価 A (概ね順調)	評価 B (やや遅れ)	評価 C (遅れ)	評価 -			取組なし
							評価することができない	終了	廃止	
1	成人のスポーツ活動の促進	10	1	6	2	1	0	0	0	0
2	子どものスポーツ活動の促進	9	3	5	0	0	1	0	0	0
3	高齢者のスポーツ活動の促進	5	0	4	0	0	0	1	0	0
4	障害者のスポーツ活動の促進	7	1	5	0	0	1	0	0	0
5	スポーツを通じた交流の促進	6	0	4	1	0	0	0	1	0
6	スポーツをささえる組織基盤の強化	4	1	3	0	0	0	0	0	0
7	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供	6	0	5	0	1	0	0	0	0
8	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理	15	3	8	1	0	2	1	0	0
9	スポーツ指導者の養成及び資質の向上	5	1	1	1	1	1	0	0	0
10	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供	2	0	2	0	0	0	0	0	0
11	スポーツ活動における安全の確保	2	0	1	0	0	1	0	0	0
12	スポーツ団体との連携・協働	2	1	1	0	0	0	0	0	0
13	大学及び研究機関との連携・協働	3	1	1	0	0	0	1	0	0
14	行政部局間の連携促進	2	1	1	0	0	0	0	0	0
15	国、茨城県等との連携	4	1	3	0	0	0	0	0	0
合計		82	14	50	5	3	6	3	1	0
			17.1%	61%	6.1%	3.7%	7.3%	3.7%	1.2%	0%

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票							No. 1				
担当課	スポーツ振興課			作成者職氏名	係長 竹前 亘						
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
事業・取組											
1 事業概要	①事業概要		市民が気軽に参加できるスポーツイベントや大会を開催し、市民がスポーツに参加する機会を促進する。								
	②活動実績		スポーツフェスティバル&つくバラ、健康マラソン、ウォークラリーといったイベントを市内在住者を対象に開催した。								
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		つくばスポーツフェスティバル参加者数		目標値	1000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		指標種別	単位	実績値	805	0	0	603	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		つくば健康マラソン参加申込数		目標値	1900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	
		指標種別	単位	実績値	1,930	0	1,136	1,794	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	5,327	千円	支出額	24,324(マラソン実行委員会への負担金15,000千円含む)	千円	歳入額	4,341	千円	支出額	21,280(マラソン実行委員会への負担金15,000千円含む)	千円
5 結果	スポーツフェスティバル、健康マラソン、ウォークラリーといったイベントは、以前は居住地を問わず参加可能であった。感染症対策として密集を防止するため、各イベントに定員を設け規模を縮小したが、イベント参加者を市内在住者や市内在住・在勤・在学者に限定することで、市民がスポーツに参加する機会を確保することができた。										
6 今後の課題	新型コロナウイルスの感染症法上の取り扱いが変わったことを受け、イベントの開催方法や参加要件等を見直す必要がある。										
7 原課評価	B	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	今年度のイベント等は密集を防ぐために定員を設けて開催する必要があった。感染症流行前に設定した目標を達成するためには、実施方法等を改善する必要があるため。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり		影響の度合い	1～3割程度		対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	参加者の定員や居住地等の要件を設けた。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主査藤本 篤							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツの日の実施										
1 事業概要	①事業概要	子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。									
	②活動実績	民間事業者が実施していた「つくバラ」と合併し、つくばスポーツフェスティバル&つくバラ2022として開催した。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		つくばスポーツフェスティバル参加者数		目標値	1000	880	960	1,000	1,000	1,000	
		指標種別	単位	実績値	805	0	0	603	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	2,065	千円	歳入額	0	千円	支出額	1,528	千円
5 結果	民間事業者が実施していた「つくバラ」と合併したことにより参加者の増加が見込まれ、1,676名の事前申込があったが、開催日が雨天であったこともあり当日の参加者は603名にとどまった。										
6 今後の課題・取組	イベント当日のスポーツ体験のみならず、イベント後の継続的なスポーツ活動の実施に繋がる取り組みを検討することで、市民のスポーツ実施率向上に寄与する。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	開催当日の悪天候もあって参加者数が目標値に達しなかったため。										
9 新しい型感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	事前申込制とし、参加者数に制限を設けた。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ教室・運動教室の開催										
1 事業概要	①事業概要	スポーツ教室や運動教室の開催を通して、スポーツの楽しさや健康の維持管理の方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図る。また、勤労者、家事・育児をしている人、女性などを対象としたスポーツ教室を開催する。									
	②活動実績	5教室を開催し、延べ296名の参加があった。 (内訳) バドミントン全4回64名/トレイルラン全4回56名/ヨガ全4回78名/ランニング全4回60名/車いすに座ってできるスポーツ体験全3回38名									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		教室数		目標値	6	6	6	6	6	6	
		指標種別	単位	実績値	7	3	5	5	0	0	
		活動結果指標	教室数								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		教室参加者延べ人数		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	748	225	473	296	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	337	千円	支出額	1,720	千円	歳入額	139	千円	支出額	727	千円
5 結果	前年度の感染症対策のノウハウを利用し、予定した6教室中5教室を行うことができた。										
6 今後の課題・取組	感染防止対策を講じながら、教室参加者のアンケート結果などから、市民ニーズに合う教室を開催していく。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	定員人数の縮小や消毒の設置など感染防止対策を講じながら教室を開催し、スポーツの機会を提供することができた。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った(検討した)			
	対策の内容	検温、手指消毒、機材の消毒、体調不良者参加自粛の案内、換気等									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 4

担当課	健康増進課		作成者職氏名	保健師 小野 美菜子							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ教室・運動教室の開催										
1 事業 概要	①事業概要	スポーツ教室や運動教室の開催を通して、スポーツの楽しさや健康の維持管理の方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図る。また、勤労者、家事・育児をしている人、女性などを対象としたスポーツ教室を開催する。									
	②活動実績	アクティブ運動教室 2コース 86回実施 参加実人数33人 延べ人数 1006人 集団指導 10回103人 個別指導 80人 体力測定 2回 20人									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		アクティブ運動教室参加実人数		目標値	60	70	80	80	80	80	
		指標種別	単位	実績値	65	37	36	33	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	600	千円	支出額	749	千円	歳入額	313	千円	支出額	749	千円
5 結果	通年で事業を実施でき、市報掲載や区会回覧、チラシの配布等によって新規申込があった。										
6 今後の 課題・ 取組	アクティブ運動教室は、年齢によるコース変更や5年卒業制度があり、例年、年度末に参加者が減少する傾向がある。つくスマやツイッター等の周知活動を行う。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	昨年度よりも参加者数が3名減になったが、感染症対策を講じ、休館することなく、通年で事業を実施できた。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり		影響の度合い		1～3割程度		対策の有無	行った（検討した）		
	対策の内容	日々の環境整備、動線の整理、施設ガイドラインの遵守等									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 5

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	スポーツを通じた交流の促進										
	0										
事業・取組	スポーツ関連情報の提供										
1 事業概要	①事業概要	スポーツに関する情報を市報、Webサイト、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、ポスターなどを活用して市民に提供し、スポーツ活動の促進を図る。									
	②活動実績	市報、チラシ、市ホームページ、スポーツ振興課Facebookを活用し、教室などの開催案内やそれらの活動の様子等、スポーツに関する情報を市民に提供した。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		SNS情報発信回数（イベント告知・報告）		目標値	8	10	12	15	15	15	
		指標種別	単位	実績値	11	17	48	31	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	チラシ、つくば市ホームページ、スポーツ振興課Facebook等でスポーツ教室などの開催情報を発信したことに加え、教室及び講座の様子をFacebookに掲載することができた。										
6 今後の課題・取組	引き続き、イベントや教室等の情報提供を行うほか、それらの活動の様子を発信することで、市民のスポーツ活動の促進及び利便性の向上を図る。また、スポーツ振興課以外のつくば市のSNSとも連携を図る。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	様々な手段を活用し、市民へスポーツ関連情報の発信を行う事ができたが、Facebookの「いいね」の数やシェア数は伸び悩んでいる。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響なし	影響の度合い	対策の有無							
	対策の内容										

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 6

担当課	健康増進課		作成者職氏名	係長 小池 牧子							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	つくば健康マイレージ事業										
1 事業 概要	①事業概要	本市が実施するスポーツイベントや講習会等の行事に参加した場合に、ポイントを付与し、市民のスポーツ参加を促進する。									
	②活動実績	県の健康づくりアプリで付与されるポイントの応募と並行し、応募者へ地元各協賛企業・団体より提供された景品を抽選で贈呈することができた。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		応募者数		目標値	1,300	1,500	1,800	2,000	2,200	2,400	
		指標種別	単位	実績値	1,236	1,030	1,107	1548	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	396	千円	歳入額	0	千円	支出額	125	千円
5 結果	市民がアプリを活用し、健康づくりに取り組むことができた。										
6 今後の 課題・ 取組	県の事業に編入することで、つくば市健康マイレージの事業は終了し、市と県がタイアップする形で市民の健康意識を高めていく。										
7 原課 評価	B	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	目標値には届かなかったが、健康増進事業等で市民にアプリについて周知することができた。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	事業を行う時は、マスクを着用するなど、感染防止策を実施した。									

担当課	スポーツ施設課		作成者職氏名	係長 島田 恭利							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進										
1 事業概要	①事業概要	スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。									
	②活動実績	体育施設をインターネット予約するための情報ネット利用者登録カードの発行等を随時行い、施設の利用を促進した。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		屋内体育施設利用者数		目標値	320000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	
		指標種別	単位	実績値	283,752	179,543	194,006	233010	0	0	
		成果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		屋外体育施設利用者数		目標値	95000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	
		指標種別	単位	実績値	154,695	59,918	71,182	84,134	0	0	
		成果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	119,314	千円	支出額	288,720	千円	歳入額	120,400	千円	支出額	283,452	千円
5 結果	情報ネット利用者登録カードを発行することで利便性を確保した。施設利用者数が目標値に対し76%となっており、前年度より12%上回った。										
6 今後の取組	今後も利用者の要望を把握しながら施設の利便性及び安全性を確保し、施設環境を向上させるため、個別施設計画に基づき計画的に施設の修繕及び改修工事を行う。 また、つくば市民・学校プールについて、令和6年度供用開始に向けて準備を進める。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	目標値に対して、屋内体育施設利用者数実績が73%、屋外体育施設利用者数実績が89%であり、新型コロナウイルス感染症による活動自粛の影響も依然としてある中で昨年度実績をそれぞれ12%、14%上回ったため。										
9 新型コロナウイルスの影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	スポーツ施設利用ガイドラインに則り、感染症対策に配慮して運営している。									

担当課	公園・施設課		作成者職氏名	係長 林 敦史							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進										
1 事業概要	①事業概要	スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。									
	②活動実績	有料施設利用者数 249,993人 改修及び管理件数 25件 改修費 18,145,490円									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		公園スポーツ施設利用人数		目標値	260000	260,000	260,000	260,000	260,000	260,000	
		指標種別	単位	実績値	264,790	221,609	225,447	249993	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		スポーツ教室参加数		目標値	500	500	500	500	500	500	
		指標種別	単位	実績値	492	-	-	-	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	-	千円	支出額	-	千円	歳入額	-	千円	支出額	-	千円
5 結果	有料施設利用者数 249,993人 改修及び管理件数 25件 改修費 18,145,490円										
6 今後の課題・取組	利用環境が向上するよう施設環境の維持・推進を実施する。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により大会等の利用が少なかったが、指標の達成度が95%以上であったため。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	ガイドラインの運用									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 9

担当課	地域支援課		作成者職氏名	係長 矢口 誠							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進										
1 事業概要	①事業概要	スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。									
	②活動実績	地域交流センタースポーツ関係サークル団体登録数：164									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		スポーツ関係サークル団体登録数（地域交流センター）		目標値	300	300	300	300	300	300	
		指標種別	単位	実績値	416	314	171	164	0	0	
		活動結果指標	団体								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果											
6 今後の課題・取組											
7 原課評価	C	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	新型コロナウイルス感染症の流行、団体構成員の高齢化等により、活動の停止や解散してしまった団体が増加し、登録数が減少してしまった。										
9 新型コロナウイルスの影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	4～6割程度			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容	-									

担当課	教育施設課		作成者職氏名	主事山田せりか							
施策	成人のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	学校体育施設の開放										
1 事業 概要	①事業概要	学校体育施設を市民に開放し、スポーツをする場と交流の機会を提供する。									
	②活動実績	学校施設等を定期的・継続的に使用を希望する団体をHPを通して広く公募し、学校体育施設の一般開放をすべく使用者間の調整会議の場を設けるなどし、スポーツをする場の提供に寄与した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		施設開放率		目標値	100	100	100	100	100	100	
		指標種別	単位	実績値	100	100	100	100	0	0	
		成果指標	%								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	50	千円	歳入額	0	千円	支出額	10	千円
5 結果	令和4年度に受け付けた申請数：554										
6 今後の 課題・ 取組	小中学校の体育施設は、ほぼ満杯状態であるが、使用希望団体数の増加に伴い、既登録団体と新規団体の希望する時間の重複を調整の場を設けるなどし、いかに事業を進めていくかが課題である。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	新規団体の参入や各団体の要望を聞きながら調整し、事業を継続して実施している。										
9 ウ 症イ の 新 ル 型 影 ス コ ロ 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	学務課		作成者職氏名	主任 津端 博之							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	スポーツをささえる組織基盤の強化										
	0										
事業・取組	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査										
1 事業 概要	①事業概要	中学校の運動部活動の用具購入費、修繕費、大会参加のためのバス賃借料などの費用を支援するなどして、運動部活動の環境の整備を図る。									
	②活動実績	中学校の運動部用のラインパウダー等の用具購入費、大会参加用のバス借上げを費用の支援を行うなど、運動部の環境を整備した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-		-	0	-	-	0	0	
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-		-	0	-	-	0	0	
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	32,537	千円	歳入額	0	千円	支出額	31,683	千円
5 結果	各学校で必要な部活動用品を選定し、購入を行った。また、陸上記録会や総合体育大会参加のため、バスの手配を行った。										
今 後 の 取 組	自動車賃貸借の予算を学校の規模に応じて配当しているため、大会の参加状況により保護者負担の多い学校もある。										
7 原 課 評 価	—	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	各学校ごと配当予算内で必要な消耗品を購入し、自動車賃貸借においても仕様により単価が異なるため、評価できない。										
ウ 9 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	学び推進課		作成者職氏名	指導主事市原 猛							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	スポーツをささえる組織基盤の強化										
	0										
事業・取組	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査										
1 事業 概要	①事業概要		中学校の運動部活動の用具購入費、修繕費、大会参加のためのバス賃借料などの費用を支援するなどして、運動部活動の環境の整備を図る。								
	②活動実績		部活動指導員を13校、32名を33部活に配置。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		部活動指導員派遣事業		目標値	16	25	25	25	25	25	
		指標種別	単位	実績値	22	18	16	32	0	0	
		活動結果指標	人数								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	-	千円	支出額	3,393	千円	歳入額	-	千円	支出額	1,498	千円
5 結果	つくば市の運動部活動指導員の配置予定人数25名中、32名を33の部活に配置となった。顧問教員の負担軽減につながったと考えられる。										
6 今後の 課題・ 取組	年度内に各学校から希望調査をとり、年度初めから指導者の活用を図る。25名活用を目指す。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	予定配置人数を満たすことができたため。										
9 ウ 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	部活動指導員への研修をオンラインで行った。									

担当課	教育総務課		作成者職氏名	主任主査 佐藤 知美							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	スポーツを通じた交流の促進										
	0										
事業・取組	全国大会・関東大会出場補助事業										
1 事業 概要	①事業概要		全国及び関東各種スポーツ大会に出場する児童・生徒に対して補助・支援を行う。								
	②活動実績		本補助金は、児童生徒のスポーツ活動及び文化的活動の練習意欲の向上並びに児童等の保護者の費用負担の軽減を目的としたもので、対象大会は、次に掲げる大会のうち、学校長の管理の下に関東大会以上の大会に県内の予選等を経て参加する大会とする。 (1) 公益財団法人日本中学校体育連盟が主催する体育大会 (2) 一般社団法人全日本吹奏楽連盟、一般社団法人全日本合唱連盟等が主催する音楽コンクール (3) JOCジュニアオリンピックカップ (4) その他教育長が必要と認めた事業 ・補助件数37件・補助額 3,258,638円								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		大会出場件数		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	35	10	32	37	0	0	
		活動結果指標	件								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	3,295	千円	歳入額	0	千円	支出額	3,259	千円
5 結果	対象の児童生徒に補助を行い、スポーツ活動の促進に寄与した。学校、児童及び生徒からの要請に応じ実施する事業のため、目標値は設定することができない。										
今 後 の 課 題 ・ 取 組	出場する大会の種目、種別が多様化しており、より効果的な補助ができるように事業内容を精査し、補助対象などを吟味する必要がある。										
7 原 課 評 価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	対象の児童生徒に補助を行い、スポーツ活動の促進に寄与した。										
ウ 9 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容	補助対象大会の実施の有無は、各大会主催者によるものなので、当課において対策を講ずることはできない。									

担当課	学び推進課		作成者職氏名	指導主事市原 猛							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	児童・生徒の体力の向上										
1 事業 概要	①事業概要	各学校で児童・生徒の体力向上のための取組を行う。また、茨城県の体力アップ関連事業と連携する。									
	②活動実績	市内の小学校より13校の参加があった。希望制で挑戦し、記録を専用ホームページに登録した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		スポーツチャレンジ参加校		目標値	3	15	15	15	15	15	
		指標種別	単位	実績値	10	9	9	13	0	0	
		活動結果指標	校								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	希望制であり、13校が参加した。児童生徒の運動への関心や体力の向上につながったと考えられる。										
6 今後の 課題・ 取組	課題である投力の種目「お手玉スロー」の参加が伸びたが、学校に偏りがある。多くの学校に広めていきたい。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	興味のある種目に意欲的にチャレンジでき、運動への関心や体力の高まりが期待できるため。										
9 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり		影響の度合い		1～3割程度		対策の有無	行っていない（検討していない）		
	対策の内容	部活動指導員への研修をオンラインで行った。									

担当課	健康教育課		作成者職氏名	係長 秋葉 康宏							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	体力テストの実施										
1 事業 概要	①事業概要	小学校及び中学校で体力テストを実施し、その結果を学校体育施策に活用する。また、子どもの体力・運動能力の向上に役立てる。									
	②活動実績	5月から7月にかけて全市立学校（48校）で体力・運動能力調査を実施した。 ◇実施種目 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（小、義教前）、ハンドボール投げ（中、義教後）									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		体力テスト参加人数		目標値	20704	21,517	22,212	22,831	23,329	23,741	
		指標種別	単位	実績値	20,718	0	21,953	22,318	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	3,070	千円	歳入額	0	千円	支出額	2,848	千円
5 結果	児童生徒の体力・運動能力テストの集計結果を茨城県に報告するとともに、各学校においては、児童生徒の運動能力の向上に向けた取組みの参考にすることができた。										
6 今後の 課題・ 取組	体力・運動能力テストの集計結果に基づき、各学校で、「体力アップ推進プラン」を作成し、体力・運動能力の向上に向けた取組みを行う。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	計画どおり体力・運動能力テストを実施し、茨城県及び各学校に集計結果を提供することができた。										
9 ウ 症イ 新 の 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」で示された感染症対策や、体育の授業における留意事項を									

担当課	こども育成課		作成者職氏名	主事 池田 恵梨							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	放課後子ども教室の推進										
1 事業 概要	①事業概要	市内の小学生を対象に放課後子ども教室を実施し、スポーツ活動や文化活動などの体験活動や地域の住民との交流活動を行う。									
	②活動実績	実施回数491回のうち参加児童は延べ16,599人、地域ボランティア（地域コーディネーター・教育活動推進員・教育活動サポーター）1,939人。新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、実施を希望する市内24か所の小学校及び義務教育学校、こども育成課で企画運営する市内3か所の交流ひろばで放課後子供教室を開催した。そのうちスポーツに関するプログラムとしては、キッズダンスやヨガ、なわとび、速く走るコツ、ペタンクやテニピンをはじめとするニュースポーツなどを実施。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		実施回数		目標値	200	200	200	200	200	200	
		指標種別	単位	実績値	436	359	326	491	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	5,000	千円	支出額	9,002	千円	歳入額	4,230	千円	支出額	7,556	千円
5 結果	スポーツの分野で活躍する地域人材を講師（教育活動推進員）とし、また教育活動サポーターの見守りの下、適宜、手指消毒や換気、ソーシャルディスタンスを確保しながら活動できた。また、子どもたちは安全に楽しくスポーツに取り組むことができた。										
6 今後の 課題・ 取組	スポーツ関連のプログラムを実施するには、体育館等の広い活動場所の確保が必要になるため、学校との調整状況によっては実施が難しい場合もあるが、引き続き実施に当たっては教育活動サポーターを不足なく配置するとともに、内容も事前に学校や講師との事前打合せを入念に行い、安全面等に充分配慮した活動を今後も行っていく。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	実績値が目標値を上回っているため。例年どおり各小学校及び義務教育学校へ希望調査を行った上で実施し、令和4年度においても、実施希望のあった学校については、手指消毒や換気などを徹底し、ソーシャルディスタンスを確保できる活動プログラムを実施し、地域の方々の協力の下、子どもたちが安全・安心に楽しみながら、スポーツに親しみ、関心を持って活動することができた。										
9 新 型 コ ロ ナ 影 響 感 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	すべての活動プログラムにおいて、ソーシャルディスタンスを確保しながら実施できるよう講師（教育活動推進員）と確認し、活動内容の改善を図った。また、事前の各学校との打合せでは、必ず活動中の感染対策について確認し、マスクの着用や活動前後の手洗い、手指消毒、換気などをした上での活動を行った。									

担当課	こども育成課		作成者職氏名	主事 池田 恵梨							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	スポーツをささえる組織基盤の強化										
	0										
事業・取組	放課後児童クラブの育成・支援										
1 事業 概要	①事業概要	小学校や児童館の体育・スポーツ施設を利用して、放課後児童クラブの遊びの場を提供し、児童の健全育成を図る。また、放課後児童クラブ施設を整備する。									
	②活動実績	桜総合体育館において、児童館を利用する児童(3年生～4年生)を対象としたつくば市立児童館交流ドッジボール大会を令和4年10月29日に開催。11児童館、計126名の児童が参加した。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加人数		目標値	300	300	300	300	300	300	
		指標種別	単位	実績値	308	0	0	126	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	65	千円	歳入額	0	千円	支出額	87	千円
5 結果	ドッジボール大会に向けて健康増進や仲間づくりを図るとともに、大会への参加によりスポーツを楽しみ、児童館交流の機会となった。令和元年度までは1児童館2チーム制、対象学年2年生～4年生で実施していたが、令和4年度は感染リスクの回避のため、1児童館1チーム制、対象学年3～4年生で実施した。										
6 今後の 課題・ 取組	令和元年度までは、300名程度の児童が保護者の送迎によって桜総合体育館に集合し大会へ参加してきた。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、令和4年度においては、密を避けながら開催できるような大会方式を検討し実施した。今後も安心して多くの児童が参加できるような体制づくりに努めたい。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた規模縮小があったため、目標値には届かなかったが、令和2、3年度と中止になった中、密にならないよう検討を重ね、実施することができたため。										
9 症イ 新 の 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	4～6割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	応援は声を出さずに拍手による応援とした。審判の使用する笛は、電子ホイッスルを使用。手指の消毒や、使用するボールの消毒も適									

担当課	学び推進課		作成者職氏名	指導主事市原 猛							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	体育授業への外部指導員等の派遣										
1 事業 概要	①事業概要	体育授業に外部指導員やサポーター等を派遣し、児童・生徒の体力向上や体育授業の活性化を図る。									
	②活動実績	小学校4校（沼崎小、上郷小、東小、春日学園）から希望があり、サポーターによる支援により、体育授業がより充実したものになった。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		県体育授業サポーター派遣		目標値	4	4	4	4	4	4	
		指標種別	単位	実績値	4	0	2	4	0	0	
		活動結果指標	校								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	4校に計6名の体育授業サポーターが派遣され、ボール運動、器械運動、水泳等の授業がより充実したものになった。										
6 今後の 課題・ 取組	器械運動等のより専門的な技能を必要とする単元で活用できるよう積極的に周知し、より多くの児童・生徒がサポートを受けられる体制を構築する。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	目標に対してちょうど100%の達成度であったため。										
9 ウ 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容	-									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主査藤本 篤							
施策	子どものスポーツ活動の促進										
	スポーツ団体との連携・協働										
	0										
事業・取組	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施										
1 事業 概要	①事業概要	市内に拠点を置くスポーツ選手やスポーツ指導者などの人材を学校や地域スポーツクラブ等に派遣し、体力向上や技術指導を行う。また、子どもを含めた多くの市民とトップスポーツ選手との交流を提供する。									
	②活動実績	民間事業者が実施していた「つくバラ」と合併し、つくばスポーツフェスティバル&つくバラ2022として開催した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		つくばスポーツフェスティバル参加者数		目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		指標種別	単位	実績値	805	0	0	603	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	2,065	千円	歳入額	0	千円	支出額	1,528	千円
5 結果	民間事業者が実施していた「つくバラ」と合併したことにより参加者の増加が見込まれ、1,676名の事前申込があったが、開催日が雨天であったこともあり当日の参加者は603名にとどまった。										
6 今後の 課題・ 取組	イベント当日のスポーツ体験のみならず、イベント後の継続的なスポーツ活動の実施に繋がる取り組みを検討することで、市民のスポーツ実施率向上に寄与する。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	開催当日の悪天候もあって参加者数が目標値に達しなかったため。										
9 ウ 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	事前申込制とし、参加者数に制限を設けた。									

担当課	高齢福祉課		作成者職氏名	主任 島田 歩美							
施策	高齢者のスポーツ活動の促進										
	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	国、茨城県等との連携										
事業・取組	いばらきねんりんスポーツつくば市大会の開催										
1 事業 概要	①事業概要		茨城県健康福祉祭の一環として、いばらきねんりんスポーツつくば市大会を開催する。								
	②活動実績		シルバークラブや高齢者団体等へ広報紙等を利用して募集、茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会の予選会として市大会（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ベタンク、輪投げ）を開催した。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加者数		目標値	615	630	600	605	610	615	
		指標種別	単位	実績値	593	0	0	536	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	1,539	千円	歳入額	0	千円	支出額	1,471	千円
5 結果	高齢者が愛好するスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会の増進に寄与することができた。グラウンドゴルフの部において、全国大会出場が決定した。										
今 後 の 課 題 ・ 取 組	出場者の確保・増加を図っていく必要がある。 全国大会出場者が年々出ており、市として支援していく必要がある。										
7 原 課 評 価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	指標の達成度が80%以上であり、高齢者が愛好するスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会の増進に寄与することができたため。										
ウ 9 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ ロ ナ 感 染	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じて大会を開催した。									

担当課	健康増進課		作成者職氏名	保健師 小野 美菜子							
施策	高齢者のスポーツ活動の促進										
	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供										
	0										
事業・取組	いきいき運動教室・元気はつらつ運動教室の開催										
1 事業 概要	①事業概要		高齢者を対象に、有酸素運動を中心とした軽い運動・ストレッチなどの運動教室を開催する。								
	②活動実績		いきいき、元気はつらつ運動教室 7コース 302回実施 参加実人数187人 延べ人数 5750人 集団指導 42回 766人 個別指導 585人 体力測定 7回 115人								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		いきいき運動教室参加実人数		目標 値	120	120	120	120	120	120	
		指標種別	単位	実績 値	119	85	80	96	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		元気はつらつ運動教室参加実人数		目標 値	120	120	120	120	120	120	
		指標種別	単位	実績 値	124	100	82	91	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	2,520	千円	支出額	6,735	千円	歳入額	1,910	千円	支出額	6,632	千円
5 結果	通年で事業を実施でき、市報掲載や区会回覧、チラシの配布等によって新規申込があった。元気はつらつ運動教室の参加者に、後期高齢者の質問票を配布しオーラルフレイルの講話を行った。										
6 今 後 の 課 題 ・ 取 組	いきいき運動教室は、年齢によるコース変更や5年卒業制度があり、例年、年度末に参加者が減少する傾向がある。つくスマやツイッター等の周知活動を行う。										
7 原 課 評 価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	感染症対策を講じ、通年事業を実施できた。										
9 ウ 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	日々の環境整備、動線の整理、施設ガイドラインの遵守等									

担当課	健康増進課		作成者職氏名	保健師 小野 美菜子							
施策	高齢者のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	出前体操教室の開催										
1 事業 概要	①事業概要		地域交流センター等を利用して、専門の指導者による介護予防のための出前体操教室を開催する。								
	②活動実績		・健康体操教室(65歳以上) 実施回数:578回 実参加者数：804人 延参加者数：4828人 ・自主活動実施団体数（65歳以上）：11団体								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		多世代交流出前教室実施回数(65歳以上の団体のみ)		目標値	600	610	620	630	640	650	
		指標種別	単位	実績値	641	311	406	578	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		シルバーリハビリ出前体操教室実施回数		目標値	3,050	3,050	3,100	3,100	3,150	3,150	
		指標種別	単位	実績値	2,950	164	428	2,203	0	0	
		活動結果指標	回								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	17,726	千円	歳入額	0	千円	支出額	14,072	千円
5 結果	健康体操教室(65歳以上)：通年事業を実施できた。市報掲載や区会回覧、チラシの配布等を行い、新規申込みも2団体あった。										
6 今後の 課題・ 取組	参加者や参加団体を増やすために、つくスマやツイッター等の周知活動を行う。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	感染症対策を講じ、通年事業を実施できた。										
9 症イ新 のル型 影スコ 響感口 染ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	手指消毒や換気の徹底、人数制限を行い、物品の共有も中止。自宅での検温を促し、体調チェックを徹底。									

担当課	高齢福祉課		作成者職氏名	主事 立原 怜奈							
施策	高齢者のスポーツ活動の促進										
	スポーツを通じた交流の促進										
	スポーツをささえる組織基盤の強化										
事業・取組	シルバークラブでのスポーツ活動の促進										
1 事業 概要	①事業概要		地域の高齢者の生きがいと健康づくりのためにシルバークラブでのスポーツ活動を促進させる。								
	②活動実績		・ねんりんスポーツ大会の実施 ・おひさまサンサン生き生きまつりは中止 ・シルバークラブ連合会及び単位シルバークラブに補助金を交付し、スポーツ活動を支援した。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		単位クラブ数		目標値	144	148	140	141	142	143	
		指標種別	単位	実績値	137	136	133	129	0	0	
		活動結果指標	クラブ								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		会員数		目標値	7,000	7,200	6,600	6,630	6,660	6,690	
		指標種別	単位	実績値	6,575	6,533	6,292	6,113	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	2,567	千円	支出額	29557	千円	歳入額	2,249	千円	支出額	24,045	千円
				(補助金・負担金を含む)							
5 結果	シルバークラブに補助金を交付することでその活動を支援し、高齢者の健康づくり及び介護予防に資することができた。										
6 今後の 課題・ 取組	引き続き、シルバークラブの会員増加策について検討していく必要がある。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	指標の達成度が80%以上であり、高齢者のスポーツ活動を促進できたため。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	シルバークラブ大会を中止とした。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主査藤本 篤							
施策	障害者スポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	障害者スポーツのイベントの実施										
1 事業 概要	①事業概要		障害者スポーツイベントを実施し、障害者スポーツの活動を促進する。								
	②活動実績		民間事業者が実施していた「つくバラ」と合併し、つくばスポーツフェスティバル&つくバラ2022として開催した。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		つくばスポーツフェスティバル参加者数		目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		指標種別	単位	実績値	805	0	0	603	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	2,065	千円	歳入額	0	千円	支出額	1,528	千円
5 結果	民間事業者が実施していた「つくバラ」と合併したことにより参加者の増加が見込まれ、1,676名の事前申込があったが、開催日が雨天であったこともあり当日の参加者は603名にとどまった。										
6 今後の 課題・ 取組	イベント当日のスポーツ体験のみならず、イベント後の継続的なスポーツ活動の実施に繋がる取り組みを検討することで、市民のスポーツ実施率向上に寄与する。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	開催当日の悪天候もあって参加者数が目標値に達しなかったため。										
9 ウ 症 イ 新 の 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	事前申込制とし、参加者数に制限を設けた。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	障害者スポーツ活動の促進										
	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供										
	0										
事業・取組	障害者（のための）スポーツ教室の実施										
1 事業 概要	①事業概要	障害者スポーツ教室を実施し、スポーツを楽しむ機会を提供する。									
	②活動実績	車いすに座ってできるスポーツ体験として、車いすバスケ・ポッチャ・車いす卓球の三種目を行った。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		障害者スポーツ教室参加者数		目標値	20	20	20	20	20	20	
		指標種別	単位	実績値	0	8	0	38	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	34	千円	支出額	520	千円	歳入額	10	千円	支出額	83	千円
5 結果	車いすスポーツとして、本年度は、38名となり、過去最高の参加者数であり、車いすスポーツが徐々に浸透しつつあると感じた。										
6 今後の 課題・ 取組	より多くの方に参加してもらえるよう、スポーツ教室と連動した、障害者スポーツの体験ができるイベント等、障害者スポーツに興味を持ってもらう機会を設ける。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	参加人数が目標値を超えたため。										
9 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	検温、手指消毒、機材の消毒、体調不良者参加自粛の案内、換気等									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主査藤本 篤							
施策	障害者のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	障害者スポーツのサポーターや指導者の育成の支援										
1 事業 概要	①事業概要	障害者スポーツのサポーターやボランティアの育成の仕組みに取り組み、指導者へとステップアップするような仕組みづくりと活躍の場を提供する。									
	②活動実績	地域スポーツ施設および就労支援施設等の事業者に対して、障害者のスポーツをサポートするためにできることを考えるワークショップを開催した。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		障害者スポーツサポーター養成講座受講者数		目標値	20	20	20	20	20	20	
		指標種別	単位	実績値	21	20	11	10	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	734	千円	歳入額	0	千円	支出額	731	千円
5 結果	障害者の受入れに積極的なスポーツ関係事業者がいることがわかった。また、事業者同士でのコミュニケーションを取り、独自に障害者を受入れるような取り組みを考えていた。										
6 今後の 課題・ 取組	実際に、障害者が既存のスポーツ事業者のサービスを利用できるよう、実証を進めていく必要がある。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	参加者数は目標に達しなかったが、障害者の受入れに積極的なスポーツ関係事業者がいるなど具体的かつ現実的に障害者が日常的にスポーツに取り組むための施策が進んでいる。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	障害者地域支援室		作成者職氏名	主任・大竹司							
施策	障害者のスポーツ活動の促進										
	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供										
	0										
事業・取組	障害児運動教室の開催										
1 事業 概要	①事業概要		障害児の社会参加を促進する事業として、専門の指導者による障害児を対象としたスポーツ・レクリエーション教室を開催する。								
	②活動実績		健康増進施設いきいきプラザにて、計画通り全10回開催した。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加者数		目標値	20	20	20	20	20	20	
		指標種別	単位	実績値	25	24	24	24	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		延べ人数		目標値	140	140	140	140	140	140	
		指標種別	単位	実績値	192	0	132	196	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	127	千円	支出額	294	千円	歳入額	125	千円	支出額	264	千円
5 結果	参加児童の体調管理、会場の喚起、消毒等の感染対策をしつつ、インストラクターの指導の下、障害児の交流、余暇活動の充実を図ることができた。										
今 後 の 取 組	今後も消毒など基本の感染対策を実施しつつ、大きな怪我に繋がらないよう、インストラクターと運動メニュー等を検討していく。										
7 原 課 評 価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	コロナの影響による中止なく、参加児童も大きな怪我等なく実施できたため。										
ウ 9 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響なし		影響の度合い			対策の有無				
	対策の内容	事前の体調管理、会場の換気、参加児童及び備品等の消毒									

担当課	障害者地域支援室		作成者職氏名	主任・大竹司							
施策	障害者のスポーツ活動の促進										
	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	0										
事業・取組	おひさまサンサン生き生きまつりの開催										
1 事業 概要	①事業概要		障害者（児）社会参加を促進する事業として、「おひさまサンサン生き生きまつり」を開催し、市民の障害に対する理解及び障害者の社会参加の促進を目指す。								
	②活動実績		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止とした。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加者数		目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		指標種別	単位	実績値	1,225	0	0	0	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	2,068	千円	支出額	4,543	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	コロナ感染拡大のため開催を中止した。										
6 今後の 課題・ 取組	障害者、高齢者の特性と感染対策が両立できるよう開催形式等を検討する必要がある。										
7 原課 評価	—	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	事業を実施できなかったため。										
9 ウ 症イ の 影 響 感 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	完全に中止			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容										

担当課	つくば市社会福祉協議会		作成者職氏名	つくば市社会福祉協議会地域福祉推進室主任 荻生 奈苗							
施策	障害者のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	「みんなでDO!スポーツ」の開催										
1 事業 概要	①事業概要		障害者のスポーツを通じた地域との交流や仲間づくりを目的としてスポーツ交流事業を開催する。								
	②活動実績		毎月第2日曜日大穂体育館において、知的障害者を対象としたスポーツイベントを実施した。コロナウイルスの影響がありつつも、二部制に分けての実施等感染対策を行い、全11回を対面で実施することができた。(参加登録者24名、開催回数11回)								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		開催回数		目標値	11	11	11	11	11	11	
		指標種別	単位	実績値	9	3	10	11	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加人数		目標値	250	250	250	250	250	250	
		指標種別	単位	実績値	203	61	150	189	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	245	千円	支出額	245	千円	歳入額	177	千円	支出額	177	千円
5 結果	新型コロナウイルスの影響がありつつも、筑波大学「スポーティア」の学生たちと顧問の澤江幸則先生とコロナ禍でも活動を継続できるよう協議し、感染対策を行いながら、当初の予定通り事業を開催することができた。										
6 今後の 課題・ 取組	コロナ前と比べ、登録者数が減少したまま推移している（コロナ前は30名前後）。これまでは感染症対策のため、広く参加者募集の呼びかけを行ってこなかったが、今後は登録者増に向けて事業の周知と広報を行っていく。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	コロナの影響がある中でも関係者間で協議しコロナ禍でもできる活動を行い、予定通りの回数の開催ができたため。										
9 症イ新 のル型 影スコ 響感ロ 染ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	4～6割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	①2部制での実施②基本的な感染症対策（検温・消毒）									

担当課	障害者地域支援室		作成者職氏名	主任・大竹司							
施策	障害者のスポーツ活動の促進										
	0										
	0										
事業・取組	体験乗馬療法事業の開催										
1 事業 概要	①事業概要		地域生活支援事業における社会参加支援として、乗馬を通して、動物とふれあう心を養うとともに、障害児と健常児との交流を図る。								
	②活動実績		令和5年3月に開催されたチャレンジアートフェスティバルと同日に大清水公園で開催した。障害児・者と小学生以下の児童の多くが参加した。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加者数		目標値	500	500	500	500	500	500	
		指標種別	単位	実績値	418	0	0	337	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	181	千円	支出額	617	千円	歳入額	181	千円	支出額	385	千円
5 結果	チャレンジアートフェスティバル会場にいた障害児・者と大清水公園に来た小学生以下の児童の多くが参加した。										
6 今後の 課題・ 取組	より多くの障害児・者が参加できるようなかたちを検討していく。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	参加児童に大きな怪我等なく実施できたため。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い	4～6割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	参加児童及び備品等の消毒									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	スポーツを通じた交流の促進										
	0										
	0										
事業・取組	地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツ交流の支援										
1 事業 概要	①事業概要	地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツを通じた交流を支援する。また、そのための近隣の公共施設等の利用の便宜を図る。									
	②活動実績	(一社)つくば市スポーツ協会の構成団体であるスポーツ振興会6支部において、各支部が企画・運営するスポーツ・レクリエーション活動事業を市民を対象に実施した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		スポーツ振興会事業数		目標値	50	50	50	50	50	50	
		指標種別	単位	実績値	49	11	11	27	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	1,900 (スポーツ協会補助金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	16,479 (スポーツ協会補助金)	千円
5 結果	各支部で事業を実施し、市民にスポーツを行う機会や、スポーツを通じた交流の場を提供することができた。										
6 今後の 課題・ 取組	引き続き、(一社)つくば市スポーツ協会に補助金を交付することで、スポーツ振興会の活動を支援する。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	新型コロナウイルス感染症の影響で27事業は中止となったが、実施方法を検討するなどして、活動・事業を行えたため。										
9 症イ新 のル型 影ス 響コ 感ロ 染ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	4~6割程度			対策の有無	行った(検討した)			
	対策の内容	必要に応じたマスクの着用、手指消毒、活動規模の縮小等									

担当課	地域支援課		作成者職氏名	係長 矢口 誠							
施策	スポーツを通じた交流の促進										
	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
事業・取組	地域交流センターの活用										
1 事業概要	①事業概要	各地域交流センターにおいて、スポーツ関連の講座を開講し、また付属する施設でスポーツをすることによって、住民の自発的な活動の促進を図り、地域の交流を促す。									
	②活動実績	・講座実施数：16講座、 ・延べ参加人数：680人 ストレッチ、ヨガ、ピラティス、スポーツ吹き矢、太極拳、エアロビ、ボクササイズ、健康体操									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		自主講座数		目標値	20	20	20	20	20	20	
		指標種別	単位	実績値	14	7	15	16	0	0	
		活動結果指標	件								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		講座参加人数		目標値	1500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
		指標種別	単位	実績値	922	114	649	680	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	1,813	千円	支出額	5,530	千円	歳入額	783	千円	支出額	3,434	千円
5 結果	新型コロナウイルス感染症の流行歌ではあったが、ワクチン接種や規制緩和の動きが進んだため、講座数及び参加者数が増加した。										
6 今後の課題・取組	地域交流センターで、実施できるスポーツの種類は限られるが、利用者ニーズをアンケートにより把握しながら、スポーツ分野の講座数を増加させる。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	市民へスポーツ分野における生涯学習の機会を提供するとともに、スポーツを通じた交流の促進と、健康増進を図ることができた。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	施設ごとのガイドライン作成、陽性等者が出た場合の対応準備、定期的な除菌、換気や、マスク着用の案内徹底、適切な会場の収容人数の制限等を行った。									

担当課	地域支援課		作成者職氏名	係長 矢口 誠							
施策	スポーツを通じた交流の促進										
	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
事業・取組	ふれあいプラザの活用										
1 事業 概要	①事業概要		市民の自主的なスポーツ活動及び交流と生涯学習の機会を提供するために、ふれあいプラザのフィットネスプール、ホール、軽運動室を積極的に活用する。								
	②活動実績		フィットネスプール利用者数 ・R4年間利用者数:12,928人								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		フィットネスプール利用者数		目標値	16,500	17,000	17,500	18,000	18,500	19,000	
		指標種別	単位	実績値	15,164	9,468	10,009	12,928	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	66,744	千円	歳入額	0	千円	支出額	68,005	千円
5 結果	新型コロナウイルス感染症の流行歌ではあったが、ワクチン接種や規制緩和の動きが進んだため、プール利用者数が増加した。										
6 今後の 課題・ 取組	利用者層の中では、利用料が減免となる高齢者の利用が特に増加している。利用者の年齢層の裾野を広げるために、若年層・青年層等へのさらなる周知が必要である。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	利用者数が前年を大幅に上回り、市の施設を生かし市民にスポーツの機会を提供できた。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	施設ごとのガイドライン作成、陽性等が出た場合の対応準備、定期的な除菌、換気や、マスク着用の案内徹底、適切な会場の収容人数の制限等を行った。									

担当課	観光推進課		作成者職氏名	主事 黄川田梨花							
施策	スポーツを通じた交流の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ合宿の誘致										
1 事業概要	①事業概要	スポーツツーリズム向上の一環として、スポーツ合宿の誘致の推進を図る。									
	②活動実績	学生団体合宿の事前申請について、スポーツ施設課、公園・施設課、教育総務課と連携し、事前予約業務を行った。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		施設利用者数		目標値	8000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
		指標種別	単位	実績値	5,597	210	210	1186	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度年より誘致人数が大幅に減少したが、令和4年度は1186人まで増加した。										
6 今後の課題・取組	市内のスポーツ大会等の開催頻度もコロナ前の水準まで戻りつつあることや、廃校の活用方法も定まりつつあることから、本事業にて活用できる施設が減少しているが、引き続きスポーツ合宿の誘致を行う。										
7 原課評価	B	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ合宿の誘致人数が減少し、令和4年度時点でもコロナ前の水準の水準まで回復していないため。										
9 新型コロナウイルスの影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	7～9割程度			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容										

担当課	観光推進課		作成者職氏名	係長 貝澤 毅							
施策	スポーツを通じた交流の促進										
	0										
	0										
事業・取組	森林体験パークの整備及び通年型観光拠点の構築										
1 事業 概要	①事業概要		筑波山梅林周辺の市有地に森林体験パークを整備し、新たな年代層をターゲットとした通年型観光拠点を構築し、スポーツツーリズムの促進を図る。								
	②活動実績		コースランディング修繕及びパーク内歩道部の簡易修繕を実施した。 また、パンフレットの増刷及びコース活用木の樹木診断を実施した。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		施設利用者数		目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
		指標種別	単位	実績値	13,279	10,337	13,999	14,359	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	9,000	千円	支出額	5,283	千円	歳入額	9,906	千円	支出額	3,124	千円
5 結果	施設の長寿命化を図るため、施設の改修を適宜実施した結果、利用者への満足度向上が図れた。										
6 今後の 課題・ 取組	<p>【課題】</p> <p>パーク内樹木でカシナガ被害木が確認された。パークの長期運用を図るため、被害を最小限とする対策の実施、かつコースの見直しを図る必要がある。</p> <p>【取組】</p> <p>樹木調査</p>										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	来場者数は指標に届かなかったが、歳入額については目標値を超え、コロナ以前に戻りつつあるため。										
9 新しい 感染症 の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容										

担当課	国際都市推進課		作成者職氏名	課長補佐村山 えりか							
施策	スポーツを通じた交流の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツを通じた国際交流										
1 事業概要	①事業概要	日本人・外国人を問わず、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた国際交流を行うとともに、多文化共生の意識を啓発する。									
	②活動実績	事業の廃止を決定したため、実績なし									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		外国人選手の割合		目標値	20	20	25	25	30	30	
		指標種別	単位	実績値	19	0	0	0	0	0	
		活動結果指標	%								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加者の国籍数		目標値	25	26	27	28	29	30	
		指標種別	単位	実績値	23	0	0	0	0	0	
		活動結果指標	国								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	50	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	特になし										
6 今後の課題・取組	特になし										
7 原課評価	—	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		—	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	事業の廃止を決定し、実施しなかったため評価不可										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響なし		影響の度合い			対策の有無				
	対策の内容	特になし（新型コロナウイルス感染症とは関係なく、事業見直しの結果、廃止としたため）									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	スポーツをささえる組織基盤の強化										
	スポーツ団体との連携・協働										
	0										
事業・取組	つくば市スポーツ協会との連携及び事業の補助										
1 事業概要	①事業概要	つくば市スポーツ協会及びその構成組織である専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会と連携し、本市のスポーツを推進する。また、同協会が行うスポーツを目的とする事業に対して補助を行う。									
	②活動実績	(一社)つくば市スポーツ協会へ補助金を交付し、団体が行うスポーツ大会や講習会等の事業を支援した。また、各種スポーツ教室を協会に委託し、連携して事業を行った。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		体育協会専門部数		目標値	260	260	260	260	260	260	
		指標種別	単位	実績値	253	221	212	216	0	0	
		活動結果指標	団数								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		体育協会スポーツ少年団数		目標値	95	95	95	95	95	95	
		指標種別	単位	実績値	96	89	92	90	0	0	
		活動結果指標	団数								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	1,900 (スポーツ協会補助金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	16,479 (スポーツ協会補助金)	千円
5 結果	市民へスポーツに親しむ機会やスポーツを行う機会を提供できた。 また、スポーツ協会に各種教室を委託し、連携して事業を実施することができた。										
6 今後の課題・取組	引き続き、(一社)つくば市スポーツ協会に補助金を交付することで、スポーツ振興会の活動を支援する。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり会員数の減少がみられるが、(一社)つくば市スポーツ協会の組織基盤を強化し、また連携して事業を行うことで、地域スポーツ活動を推進できたため。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った(検討した)			
	対策の内容	必要に応じたマスクの着用、手指消毒、活動規模の縮小等									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主査藤本 篤							
施策	スポーツをささえる組織基盤の強化										
	スポーツ団体との連携・協働										
	0										
事業・取組	つくば市レクリエーション協会との連携及び事業の補助										
1 事業 概要	①事業概要	つくば市レクリエーション協会と連携し、本市のスポーツ・レクリエーションを推進する。また、同協会が行う事業に対して補助を行う。									
	②活動実績	補助金交付額 30,000円									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		会員数		目標値	25	25	30	30	35	35	
		指標種別	単位	実績値	31	31	31	32	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	30	千円	歳入額	0	千円	支出額	30	千円
5 結果	補助金を交付し、活動を支援することで、市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進させ、地域の交流に寄与できた。										
今 後 の 課 題 ・ 取 組	引き続き、つくば市レクリエーション協会の活動を支援する。										
7 原 課 評 価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	団体の活動を支援することにより、組織基盤を強化し、地域スポーツ・レクリエーション活動を促進できた。										
ウ 9 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響なし		影響の度合い			対策の有無				
	対策の内容										

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 40

担当課	教育総務課		作成者職氏名	主任 谷沢 潤一郎							
施策	スポーツをささえる組織基盤の強化										
	スポーツ団体との連携・協働										
	0										
事業・取組	つくば市小学校体育連盟との連携及び事業の補助										
1 事業 概要	①事業概要	市内の小中学生を対象につくば市小学校体育連盟が陸上記録会等を開催するために、必要な経費を補助する。									
	②活動実績	児童の体力の増進及び運動能力の向上を目指す、市民意識を高め豊かな人間性と社会性の育成とともに小学校教諭の指導力向上を図るため、以下の事業費を補助する。 ①陸上記録会の開催 16回（市内16学園ごとに開催したため）、補助額 496,475円 役員会の開催 2回（参加役員旅費） 補助額 2,500円									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		陸上記録会出場校		目標値	33	33	33	33	33	33	
		指標種別	単位	実績値	33	33	33	33	0	0	
		活動結果指標	校								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	500	千円	歳入額	0	千円	支出額	500	千円
5 結果	児童の体力の増進及び豊かな人間性の育成を図ることができた。										
6 今後の 課題・ 取組	より多くの児童に活躍の場を提供するため、今後も中学校区単位で開催する。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	小学校体育・スポーツの健全な普及発達に資するとともに、学校相互の親睦を図ることができた。										
9 ウ 症イ 新 のル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	大会の開催に当たり、感染症対策として種目の変更や時間の短縮を行った。									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 41

担当課	教育総務課		作成者職氏名	主任 谷沢 潤一郎							
施策	スポーツをささえる組織基盤の強化										
	スポーツ団体との連携・協働										
	0										
事業・取組	つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助										
1 事業 概要	①事業概要		市内の中学生を対象につくば市中学校体育連盟が陸上競技大会、総合体育大会、新人体育大会等を開催するために、必要な経費を補助する。								
	②活動実績		生徒の運動力向上と身心の健全な発達・成長及び、中学校教諭の指導力向上を図るため、市総合体育大会・市新人体育大会の事業費を補助する。 ●競技種目：市総合体育大会 野球・バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス・卓球・陸上競技・器械体操・剣道・水泳・サッカー・バドミントン・ハンドボール ●市新人体育大会 野球・バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス・卓球・陸上競技・器械体操・剣道・水泳・サッカー・バドミントン・ハンドボール 補助額：2,002,212円								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		市総合体育大会出場校		目標値	16	16	16	16	16	16	
		指標種別	単位	実績値	16	0	16	16	0	0	
		活動結果指標	校								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		市新人体育大会出場校		目標値	16	16	16	16	16	16	
		指標種別	単位	実績値	16	16	16	16	0	0	
		活動結果指標	校								
3予算額				4決算額							
歳入額	0	千円	支出額	2,087	千円	歳入額	0	千円	支出額	2,003	千円
5 結果	生徒の運動力向上と身心の健全な発達・成長及び、中学校教諭の指導力向上を図るため、市総合体育大会・市新人体育大会の事業費を補助した。 ●競技種目：市総合体育大会 野球・バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス・卓球・陸上競技・器械体操・剣道・水泳・サッカー・バドミントン・ハンドボール ●市新人体育大会 野球・バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス・卓球・陸上競技・器械体操・剣道・水泳・サッカー・バドミントン・ハンドボール										
6 今後の課題・取組	市総体・新人戦は、同一会場で大会を実施できない競技がある。また、基本的には学校や市所有の体育施設（減免等により使用料無料）を使用しているものの、施設使用料がかかる施設（洞峰公園プール、鹿島アントラーズグラウンド、市外の陸上競技場）でも開催している。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	中学校体育・スポーツの健全な普及発達に資するとともに競技レベルの向上を図ることできた。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり		影響の度合い		1～3割程度		対策の有無	行った（検討した）		
	対策の内容	国や県の指針に従い大会を開催した。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 竹前 亘							
施策	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	0										
	0										
事業・取組	つくばマラソン開催事業										
1 事業 概要	①事業概要		地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。								
	②活動実績		3年ぶりに現地で大会を開催した。ランナーの定員は、平成31年の大会は全ての種目の合計で18,500人であったが、令和4年は10,000人とし9,863人の申し込みがあった。ボランティアに協力した人数は、2019年は1,018人であったが令和4年は440人であった。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加申込数		目標値	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	
		指標種別	単位	実績値	18,112	0	842	9863	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		ボランティア数		目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		指標種別	単位	実績値	1,018	0	0	440	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	15,000(マラソン実行委員会への負担金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	15,000(マラソン実行委員会への負担金)	千円
5 結果	参加申込数は、定員10,000人をほぼ充足させることができたが、現状の会場計画では目標値の18,500人を達成することは難しい状況である。ボランティアは目標の半数以下の440人であった。原因として、前回の活動から時間が空いたことや、感染症の影響により団体としてボランティアに協力できない企業があったことが挙げられる。										
6 今後の 課題・ 取組	目標を達成するために、大会会場の選定や、運営方法の見直しを検討する。また、より多くの方にボランティアに参加していただくための方策を検討する。										
7 原課 評価	C	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	現在の会場計画では、参加申込数の目標値である18,500人の約6割程度しか収容できず、会場の変更等の検討が必要であるため。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり		影響の度合い		4～6割程度		対策の有無	行った（検討した）		
	対策の内容	参加者の定員や居住地等の要件を設けた。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 竹前 亘							
施策	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	0										
	0										
事業・取組	つくば健康マラソン大会開催事業										
1 事業 概要	①事業概要		小学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るために、つくば健康マラソン大会を開催する。								
	②活動実績		3年ぶりの大会を開催し、1,794名の参加申し込みがあった。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加申込数		目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	
		指標種別	単位	実績値	1,930	0	1,136	1,794	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	1,500	千円	支出額	5,716	千円	歳入額	1,253	千円	支出額	4,433	千円
5 結果	3年ぶりの大会開催となり、感染症対策のため参加要件を市内在住・在勤・在学者に限定したが、1,794人の参加申込があった。そのうち、つくばマラソンの参加要件を満たさない小・中学校の年代の参加者が半数以上の1,031人であり、つくばマラソンとは異なる年代に対する体力向上やランニングの普及を図ることができた。										
6 今後の 課題・ 取組	新型コロナウイルスの感染症法上の取り扱いが変わったことを受け、イベントの開催方法や参加要件等を見直す必要がある。つくばマラソンよりも短い距離で参加しやすい大会であるため、若年者や高齢者の参加を増やす方策を検討する。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	目標に近い参加申込があったため。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	参加者の定員や居住地等の要件を設けた。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	0										
	0										
事業・取組	つくばウォークラリー大会開催事業										
1 事業 概要	①事業概要		いつでも気軽に市民がスポーツをすることができるプログラムとして、ウォークラリー大会を開催する。								
	②活動実績		昨年度までは、新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止をしていたが、3年ぶりに開催した。令和3年度は、申込は行ったが、実施はしなかった。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加申込数		目標値	500	500	500	500	500	500	
		指標種別	単位	実績値	539	0	354	361	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	80	千円	支出額	381	千円	歳入額	52	千円	支出額	194	千円
5 結果	開会式・閉会式を行わないなどの感染症対策を講じた上で、開催することができた。										
6 今後の 課題・ 取組	開会式・閉会式の有無について協議する。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	今年度は、3年ぶりに開催することができた。 令和3年度は、申込後中止が決定し、実施しなかった。										
9 新型コロナウイルス 感染症 の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	手指消毒、検温、開閉会式の省略等									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 45

担当課	健康増進課		作成者職氏名	保健師 小野 美菜子							
施策	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	0										
	0										
事業・取組	「つくばウォークの日」運動普及事業										
1 事業概要	①事業概要	毎月第1日曜日を「つくばウォークの日」と定め、ウォーキングイベントを開催したり、ウォーキングコースを紹介するなど、市民が運動に親しむ機会を提供する。									
	②活動実績	つくばウォークの日 イベントウォーク実施 5回/年（当初実施計画は5回） 地区ウォーク実施 6回/年※（当初実施計画は6回） ※第一日曜からそれに続く金曜までの日を「地区ウォーク週間」とし、ウォーキングを実施した月を1回としてカウント）									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		実施回数		目標値	10	10	10	10	10	10	
		指標種別	単位	実績値	9	4	7	11	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		参加延べ人数		目標値	500	520	540	560	580	600	
		指標種別	単位	実績値	818	469	847	977	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	547	千円	歳入額	0	千円	支出額	486	千円
5 結果	年間の予定通り、全て実施することができ、参加延べ人数も増加した。手軽にできるウォーキングを、より多くの人が生活の中に取り入れる動機づけとなった。										
6 今後の課題・取組	参加者を増やすために、つくスマやツイッター等の周知活動を行う。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	感染症対策を講じ、通年事業を実施できた。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	手指や物品消毒の実施、距離の確保、体調チェックの徹底。									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 46

担当課	観光推進課		作成者職氏名	主事 黄川田梨花							
施策	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
事業・取組	フットパスコースの設定、PRの取組										
1 事業 概要	①事業概要	筑波山麓や田園地帯、古い街並み等の昔ながらの風景を楽しみながら歩くフットパスコースを設定し、PRを行う。									
	②活動実績	令和3年度に活動指標を「イベント参加者数」としたが、令和5年度以降まちあるきイベントの開催を予定しておらず、継続的な目標設定が不可能なため、活動指標を設定しないこととする。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	967	0	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-		
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-		
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	5,667	千円	歳入額	0	千円	支出額	5,361	千円
5 結果	上郷周辺地域での電子スタンプラリーを実施し、地域資源の磨き上げや周辺地域への誘客及び周遊観光の促進を行うことができた。また、市内の観光PR動画と写真を撮影し、観光PR素材の強化をすることができた。										
6 今後の 課題・ 取組	スタンプラリーの結果も踏まえ、市内全域を対象とした新たな周遊コースを6コース策定する。また、引き続き写真素材の製作を進める。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	まちあるきのスタンプラリーイベントを開催することで、古い町並みが残る周辺市街地への誘客を図ることができたため。また、市内全域への観光誘客に資する動画・写真素材を制作することができたため。										
9 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	令和3年度及び令和4年度は、周辺市街地でのまちあるきイベントを開催し、観光誘客及びPRを行った。									

担当課	秘書課		作成者職氏名	主任重本 はるか							
施策	住民が参画するスポーツイベントの機会の提供										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツイベントに関するつくば市の後援名義の使用承認										
1 事業概要	①事業概要		各種団体が主催するスポーツイベント等に対して、申請に基づき、本市の後援名義の使用を承認する手続きを行う。								
	②活動実績		市内スポーツイベント等のつくば市後援名義の使用について、取扱要項に基づき審査を行い、承認した。 申請数(全体)…144件 うちスポーツ関係の申請・承認…21件								
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		承認件数		目標値	35	35	35	35	35	35	
		指標種別	単位	実績値	40	10	19	21	0	0	
		活動結果指標	件								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	-	千円	支出額	-	千円	歳入額	-	千円	支出額	-	千円
5 結果	市以外の者が主催して行うスポーツイベント等に対し後援名義の使用を承認することで、市民のためのスポーツ活動を後押しすることができ、スポーツのまちつくばにふさわしいスポーツの振興と、公共の福祉の向上に寄与できた。										
6 今後の課題・取組	新型コロナウイルス感染症の収束により、イベントが活発に開催されることが予想されるので、迅速な審査を心掛け、遅滞なく事務を行う。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の自粛が続き、後援名義申請数が指標に届かなかったものの、承認ガイドラインを作成して感染拡大防止対策を行いながら実施できたため。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	4～6割程度			対策の有無	行った(検討した)			
	対策の内容	後援名義使用承認ガイドラインを作成し、感染防止対策の基準を設けることで、主催者に感染防止対策実施の啓発を行った。									

担当課	スポーツ施設課		作成者職氏名	係長 瓜阪 卓郎							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	陸上競技場の整備検討										
1 事業概要	①事業概要		陸上競技会等を開催することができる陸上競技場が市内にないことから、陸上競技場の整備を検討する。								
	②活動実績		令和4年4月27日庁議にて、陸上競技場を上郷高校跡地に整備する市の方針を決定した。学識経験者、スポーツ団体の代表者、市議会議員、市民の計11名で構成された（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議を立ち上げた。（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議について、第1回目を令和4年11月4日、第2回目を令和5年2月27日に開催した。また、庁内検討会議について、第1回目を令和4年11月16日、第2回目を令和5年2月20日に開催した。 なお、施設整備前のもので指標設定はできない。								
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-		
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-		
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	33,129	千円	歳入額	0	千円	支出額	28,185	千円
5 結果	令和3年度に策定した（仮称）つくば市陸上競技場整備基本構想を基に、より詳細な内容を取りまとめた（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画の策定を進めた（策定は令和5年度予定）。										
6 今後の課題・取組	令和5年度は前年度に引き続き、（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画の策定を進める。										
7 原課評価	S		順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
	A		おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
	B		やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
	C		遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
	-		評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	市の方針を決定し、（仮称）つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議を立ち上げて、基本計画の策定を進めているため。										
9 新しいタイプの感染対策	影響の有無	影響なし	影響の度合い				対策の有無				
	対策の内容										

担当課	スポーツ施設課		作成者職氏名	係長 島田 恭利							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	体育施設の改修及び維持管理										
1 事業 概要	①事業概要	市内の体育施設（グラウンド、テニスコート、柔剣道場、体育館）の改修及び維持管理（施設修繕、施設管理）を行う。									
	②活動実績	吉沼体育館トイレ改修等の修繕工事10件、小規模修繕52件、備品購入14件、工事設計5件を実施した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-	-	
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-	-	
3予算額					4決算額						
歳入額	119,314	千円	支出額	288,720	千円	歳入額	120,400	千円	支出額	283,452	千円
5 結果	年度計画と突発的に発生した設備不良等の優先度を考慮して修繕を行っていくことで、施設の適切な維持管理と、利用者の利便性及び安全性を確保することができた。										
6 今後の 課題・ 取組	緊急性の高い工事に備えつつ、関係各課及び関係者と調整しながら年度計画に沿って工事を実施していく。 また、個別施設計画の中長期的な施設整備計画に基づき、施設の改修工事や改築を行っていく。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	予算の範囲内で施設の改修及び維持管理を行えているため。										
9 ウ 症イ の新 ル型 影ス 響コ 感ロ 染ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	公園・施設課		作成者職氏名	係長 林 敦史							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	公園の運動施設の改修及び管理										
1 事業概要	①事業概要	市内の公園の運動施設（プール、テニスコート、野球場、多目的広場など）を改修し、維持管理する。									
	②活動実績	改修及び管理件数 25件 改修費 18,145,490円									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-		
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-		
3予算額					4決算額						
歳入額	-	千円	支出額	-	千円	歳入額	-	千円	支出額	-	千円
5 結果	改修及び管理件数 25件 改修費 18,145,490円 ※修繕・工事費の一部を維持管理費としているため、支出予算額の算出は難しい										
6 今後の課題・取組	日常点検や利用者の声から修繕が必要な部分について、予算の中で随時改修を実施する。										
7 原課評価	—	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	維持管理（改修等）が必要となった場合に実施するため、原課評価なし。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響なし	影響の度合い				対策の有無				
	対策の内容										

担当課	道路管理課		作成者職氏名	係長 木村敏明							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	スポーツ活動における安全の確保										
	0										
事業・取組	ベドストリアンデッキ等の歩行空間・遊歩道の整備、維持管理及び活用										
1 事業概要	①事業概要	ベドストリアンデッキの歩行空間・遊歩道の修繕等を行い、安全・安心な歩行空間を維持管理する。									
	②活動実績	必要に応じて、ベドストリアンデッキの路面の修繕や清掃、除草及び樹木剪定等の維持管理を行った。なお、維持管理は事由の発生に応じて行うため、指標は設定しない。また、支出額については、街路樹維持管理業務委託と街路維持補修工事の総額を、市内におけるベドストリアンデッキの延長割合で案分して算出している。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	0	0	0	0	
		-	-		-	-	0	0	0	0	
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	0	0	0	0	
		-	-		-	-	0	0	0	0	
3予算額					4決算額						
歳入額	-	千円	支出額	7,914	千円	歳入額	-	千円	支出額	7,907	千円
5 結果	必要に応じて、ベドストリアンデッキの維持管理を行った。なお、維持管理は事由の発生に応じて行うため、指標は設定しない。また、支出額については、街路樹維持管理業務委託と街路維持補修工事の総額を、市内におけるベドストリアンデッキの延長割合で案分して算出している。										
6 今後の課題・取組	取組継続										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	ベドストリアンデッキの維持管理を適正に行うことができたため。										
9 症状の感染ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	サイクルコミュニティ推進室		作成者職氏名	係長 田山 俊介							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	自転車のまちづくりの推進										
1 事業概要	①事業概要	安全・安心、環境、健康等に視点を置き、自転車を利用する子どもから高齢者までの全ての市民を対象に「ひと・自転車・クルマが共生できるまちつくば（安全で快適なりんりんつくば）」を推進する。また、子どもたちには、交通ルールや自転車のマナーを学ぶ機会を提供し、安全に楽しく利用できるよう推進する。									
	②活動実績	自転車のまちつくば推進委員会の開催予定回数を3回としていたが、委員長と事務局による検討の時間を十分に設けるため、2回の開催とした。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		自転車のまちつくば推進委員会開催回数		目標値	3	3	3	3	3	3	
		指標種別	単位	実績値	2	1	2	2	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合		目標値	57	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	51	1	-	-	0	0	
		成果指標	%								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	15,159	千円	歳入額	0	千円	支出額	13,404	千円
5 結果	自転車活用推進法に基づいた（仮称）つくば市自転車利用推進計画の策定を目的としている。令和4年度も机上の資料ベースの会議に固執せず、現地視察を組み込み、委員会を開催した。 （活動指標②は5年に1回のアンケート調査によるもののため、令和4年度の数値はなし）										
6 今後の課題・取組	複数回の現地視察で得られた意見も取り入れながら、実効性の高い（仮称）つくば市自転車利用推進計画の策定を目指す。										
7 原課評価	B	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	委員会の開催回数が当初予定の3回から2回に減ったことにより、目標値の67%の達成となったことから、B評価とするもの。										
9 新しいタイプの感染ナ	影響の有無	影響なし		影響の度合い			対策の有無				
	対策の内容										

担当課	防犯交通安全課		作成者職氏名	主事 木村 慎之介							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	自転車のまちづくりの推進										
1 事業 概要	①事業概要	安全・安心、環境、健康等に視点を置き、自転車を利用する子どもから高齢者までの全ての市民を対象に「ひと・自転車・クルマが共生できるまちつくば（安全で快適なりんりんつくば）」を推進する。また、子どもたちには、交通ルールや自転車のマナーを学ぶ機会を提供し、安全に楽しく利用できるよう推進する。									
	②活動実績	交通安全教室（イベント含む）を378回開催し、21,190人が参加した。 なお、交通安全教室は学校などからの要請に対し実施するため、目標値は限定とする。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		::		目標値	400	400	400	400	400	400	
		指標種別	単位	実績値	334	197	261	378	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
	3予算額					4決算額					
	歳入額	184	千円	支出額	14,952	千円	歳入額	189	千円	支出額	14,072
5 結果	各年齢層に即した交通安全教室を開催し、交通安全意識の向上を図ることができた。										
6 今後の 課題・ 取組	引き続き、地域の実情や要望に応じた交通安全教室を実施していく。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	新型コロナウイルス感染症の影響で交通安全イベント等が中止になる中、オンラインでの交通安全教室を実施するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら交通安全教室を開催することができた。										
9 症イ新 のル型 影スコ 響感ロ 染ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	4～6割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	不特定多数が集まるイベントは中止したが、交通安全教室は、オンラインでの実施を利用するなど、密にならない工夫をして開催した。									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 55

担当課	スポーツ施設課		作成者職氏名	係長 島田 恭利							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	つくばウェルネスパークの管理										
1 事業概要	①事業概要		市民の運動の場及び保養の場の提供、健康の保持増進のために、ヘルスプラザ、フットボールスタジアムつくば（セキショウ・チャレンジスタジアム）、スポーツフィールドなどのスポーツ施設を管理・運営する。								
	②活動実績		月次概況報告会を12回行う等、指定管理者と連絡及び協議を密に行った。この他、フットボールスタジアムつくばクラブハウス防水修繕等の修繕工事3件、小規模修繕3件、工事設計1件を実施した。								
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		ヘルスプラザ利用者数		目標値	186,000	186,000	186,000	186,000	186,000	186,000	
		指標種別	単位	実績値	149,974	97,598	102,168	132886	0	0	
		成果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		FSつくば及びスポーツフィールド利用者数		目標値	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	
		指標種別	単位	実績値	53,398	35,900	26,893	56,272	0	0	
		成果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	2,500	千円	支出額	94,615	千円	歳入額	2,710	千円	支出額	107,572	千円
5 結果	指定管理者と連絡及び協議を密に行い、助言、注意及び指導等を行うことで適切な維持管理及び運営を行った。										
6 今後の課題・取組	管理運営について定期的に協議を実施する等、行政と指定管理者との連携をさらに強化することで利用者の増加を図る。また、オープンして10年以上が経過し、更新時期を迎える設備や不具合等が見受けれる設備があることから、計画的に更新・修繕を行い、安全で快適な施設環境の維持に努める。令和6年度が指定管理者の更新時期となるため、施設管理に支障が出ないよう速やかに手続きを行う。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	目標値に対して、ヘルスプラザ利用者数実績が71%、FSつくば及びスポーツフィールド利用者数実績が83%であり、新型コロナウイルス感染症による活動自粛の影響も依然としてある中で昨年度実績をそれぞれ16%、43%上回ったため。										
9 新型コロナウイルスの影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	つくばウェルネスパーク感染症対策ガイドラインに則り、感染症対策に配慮して運営している。									

担当課	教育施設課		作成者職氏名	主事山田せりか							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	学校施設開放事業										
1 事業 概要	①事業概要	つくば市立の学校体育施設の地域への開放を推進する。									
	②活動実績	学校体育施設等を定期的・継続的に使用しようとする団体から、学校施設使用許可申請を提出していただき、学校と調整のうえ施設使用許可書を交付することで開放事業を推進した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		施設開放率		目標値	100	100	100	100	100	100	
		指標種別	単位	実績値	100	100	100	100	0	0	
		成果指標	%								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	50	千円	歳入額	0	千円	支出額	10	千円
5 結果	令和4年度に受け付けた申請数：554										
6 今後の 課題・ 取組	小中学校の体育施設は、ほぼ満杯状態であるが、使用希望団体数の増加に伴い、既登録団体と新規団体の希望する時間の重複を調整の場を設けるなどし、いかに事業を進めていくかが課題である。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	新規団体の参入や各団体の要望を聞きながら調整し、事業を継続して実施している。										
9 ウ 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 ロ 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	国、茨城県等との連携										
	0										
事業・取組	県立高等学校体育施設開放事業										
1 事業 概要	①事業概要	茨城県の県立学校体育施設開放促進事業に基づき、つくば市内の県立高等学校の体育施設を開放する。									
	②活動実績	茎崎高等学校のグラウンド（野球場）及び体育館を開放した。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		利用団体数		目標値	1	1	1	1	1	1	
		指標種別	単位	実績値	2	2	3	3	0	0	
		活動結果指標	団体								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	県立高等学校の体育施設を、可能な限り開放することで、市民がスポーツを行う環境の提供に寄与することができた。										
6 今後の 課題・ 取組	現状で、開放を行っている施設は空きがなく、新規で利用したい人の受け入れはできない。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	県立高校担当者と開放時期を調整し、感染防止対策を講じながら、団体へ体育施設を開放できた。										
9 ウ 症イ の 影 響 感 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容										

担当課	文化芸術課		作成者職氏名	主任 平川真兆						
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理									
	0									
	0									
事業・取組	つくばカピオ管理運営事業									
1 事業概要	①事業概要	つくばカピオを管理運営し、アリーナなどをスポーツ活動や市民の交流の場として提供する。								
	②活動実績	・アリーナ利用率：99% ・リフレッシュルーム利用率：98%								
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6
		アリーナ年間利用率		目標値	100	100	100	100	100	100
		指標種別	単位	実績値	100	99	99	99	0	0
		活動結果指標	%							
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6
		-		目標値	-	-	-	-	-	-
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0
		-	-							
3予算額					4決算額					
歳入額	38062 (日本スポーツ振興センター助成金) 千円	支出額	425906 (日本スポーツ振興センター助成金) 千円	歳入額	29717 (日本スポーツ振興センター助成金) 千円	支出額	370625 (日本スポーツ振興センター助成金) 千円			
5 結果	新型コロナウイルス感染症予防対策の影響でコロナ禍以前より利用者が減少しているが、回復傾向にはあり、スポーツを通じた交流の場として広く利用された。									
6 今後の課題・取組	経年劣化による雨漏り等が突発的に発生しているため、利用に差し支えないよう計画的に修繕が必要である。									
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる (達成度が100%以上)							
		A	おおむね順調に進んでいる (達成度がおおむね80%以上100%未満)							
		B	やや遅れている、改善事項がある (達成度がおおむね60%以上80%未満)							
		C	遅れている、大幅な改善事項がある (達成度がおおむね60%未満)							
		-	評価することができない事業である、終了、廃止							
8 評価理由	状況に合わせて利用ガイドラインを更新し、新型コロナウイルス感染症の予防を行いながら、多くの市民にスポーツの会場として提供することができたため。									
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った(検討した)		
	対策の内容	ガイドラインの更新、陽性者等が出た場合の対応準備、定期的な除菌、換気、マスク着用の案内徹底及び適切な会場の収容人数の制限等を行った。								

担当課	健康増進課		作成者職氏名	保健係長 永井さなえ							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	いきいきプラザの活用										
1 事業概要	①事業概要	健康増進施設いきいきプラザを活用して、運動を通して市民の体力の向上を図り、健康の維持増進を図る。									
	②活動実績	令和4年度はコロナの影響による閉館がなく、通常通り、貸出業務を実施できた。 貸出件数：435回 利用延べ人数：11,791人									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		貸出件数		目標値	380	380	380	380	380	380	
		指標種別	単位	実績値	387	241	317	435	0	0	
		活動結果指標	件								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		利用者延べ人数		目標値	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	
		指標種別	単位	実績値	11,030	6,619	7,198	11,791	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	478	千円	支出額	7,690	千円	歳入額	626	千円	支出額	7,793	千円
5 結果	令和4年度はコロナの影響等で休館することなく、貸出業務を実施できた。後半は電気料金の高騰により、光熱費が不足したため、他の事業予算から流用することで対応した。										
今 後 の 課 題 ・ 取 組	引き続き、施設の貸出業務を行う。また、光熱費等の施設管理費について継続的に状況を確認し、必要な対応を行う。										
7 原 課 評 価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	感染症対策を講じ、通年で貸出業務を実施でき、目標値を達成できた。										
ウ 9 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ ロ ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	利用団体に、利用時の体調チェック、消毒、換気、距離の確保等を徹底してもらった。									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 61

担当課	観光推進課		作成者職氏名	係長 貝澤 毅							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	野外活動・キャンプ等関連施設の維持管理										
1 事業概要	①事業概要	野外活動・キャンプ等のための施設を備えている豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、葦崎こもれび六斗の森などの施設の管理運営を行う。									
	②活動実績	【筑波ふれあいの里】 パーベキュー場トイレ、コテージ空調設備及びローラー滑り台の改修工事を行ったほか、筑波山麓自然学校を年7回開催した。 【豊里ゆかりの森】 主な工事としてキャビン屋根・外壁外改修工事、キャンプ場Wi-Fi設置工事を実施した。また、周遊コース整備の設計									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		施設利用者数		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	91,565	29,549	39,239	36,656	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額				4決算額							
歳入額	52,981	千円	支出額	173,973	千円	歳入額	40,421	千円	支出額	150,308	千円
5 結果	各施設とも修繕工事等の実施により、施設利用者の安全性の確保と魅力向上が図れた。										
6 今後の課題・取組	【課題】。 各施設とも老朽化した施設があり継続して修繕を実施していく必要がある 【取組】 利用者の満足度向上のため各施設とも令和6年度以降も設備の修繕や施設の改修工事等が予定されている。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	各施設とも適正な維持管理が行われ、利用者の安全と施設の魅力向上が図られたため。										
9 症状の感染ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	施設内の消毒、アクリル仕切り板の設置、予約期間の短縮等の実施。（現在は通常に戻している）									

担当課	観光推進課		作成者職氏名	係長 貝澤 毅							
施策	スポーツ施設及び関連する公共空間の整備及び維持管理										
	0										
	0										
事業・取組	筑波山麓の整備・筑波山周辺観光の活性化										
1 事業 概要	①事業概要		筑波山周辺の登山道、ハイキングコース、フォレストアドベンチャー・つくば、フットパス、ウォーキングコース、道案内表示、関連マップを整備し、筑波山周辺地域と観光の活性化を図る。								
	②活動実績		筑波山観光案内所周辺において、筑波山第2駐車場展望デッキの整備設計業務及び第1駐車場連絡路の改修工事設計を実施した。 また、筑波ふれあいの里キャンプ場土木改修工事及びキャンプ場施設の改修工事設計業務を実施した。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	0	-	0	0	
		-	-		-	-	0	0	0		
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-		-	0	0	0	0		
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	26,309	千円	歳入額	0	千円	支出額	24,827	千円
5 結果	令和4年度は主に筑波山周辺における観光施設の改修に関する設計業務を実施し、観光地における公共空間の充実を図ることができた。										
6 今後の 課題・ 取組	<p>【課題】。 各施設とも老朽化した施設があり今後も修繕の必要性がある。</p> <p>【取組】 令和4年度に設計した施設改修について令和5年度に工事を実施する予定である。</p>										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	各施設とも適正な維持管理が行われ、かつ施設整備も進められ、利用者の安全と施設の魅力向上が図られたため。										
9 新しい 型 の 影 響 感 染	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	筑波山観光案内所及び筑波山おもてなし館へサーモを導入した。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	スポーツ指導者の養成及び資質の向上										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ推進委員協議会の組織及び研修										
1 事業概要	①事業概要	スポーツ推進委員を任命し、スポーツ推進委員協議会を組織し、研修会その他の事業を実施することによって、スポーツ推進委員の活動の促進と資質の向上を図る。									
	②活動実績	今年市主催の研修会や協力を予定していた大会などは、実施することができ、多くの推進委員が参加した。研修会では推進委員自身の経験の蓄積ができ、大会等においては、スムーズな運営の一翼を担うことができた。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		スポーツ推進委員研修会の参加人数		目標値	50	50	50	50	50	50	
		指標種別	単位	実績値	74	0	27	35	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	2,901	千円	歳入額	0	千円	支出額	2,800	千円
5 結果	今年市主催の研修会や協力を予定していた大会などは、実施することができ、多くの推進委員が参加した。研修会では推進委員自身の経験の蓄積ができ、大会等においては、スムーズな運営の一翼を担うことができた。										
6 今後の課題・取組	引き続き、市主催事業や研修会等への参加を促し、また、委員の資質向上に寄与するような情報を委員へ共有していく。										
7 原課評価	B	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	目標値には達しなかったものの、市主催の研修会や協力を予定していた大会などは、実施することができ、多くの推進委員が参加・協力することができたため。										
9 新しいタイプの感染予防	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	スポーツ指導者の養成及び資質の向上										
	0										
	0										
事業・取組	つくば市スポーツ協会及び関係団体の指導者の養成及び資質の向上										
1 事業 概要	①事業概要	つくば市スポーツ協会及び関係団体のスポーツ指導者の養成及び資質向上を支援する									
	②活動実績	(一社)つくば市スポーツ協会が(公財)日本スポーツ協会の事業である「スタートコーチ養成講座」を実施し、茨城県内から69人の参加があり「理念を学んだ指導者」として、資格を取得した。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		リーダー養成講習会受講人数		目標値	50	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	63	0	82	69	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	1,900 (スポーツ協会補助金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	16,479 (スポーツ協会補助金)	千円
5 結果	スタートコーチ養成講習会について、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、つくば市内はもちろん県内からも多く参加し、指導者の養成及び資質の向上を図ることができた。										
6 今後の 課題・ 取組	部活動改革等も視野に入れ、スタートコーチ養成講習会の定期的開催し、指導者の養成及び資質の向上を図る。										
7 原課 評価	S	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	つくば市内外から多くが参加し、資格を取得することができたため。										
9 ウ 症イ の 新 ル 型 影 ス コ ロ ナ 感 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	学び推進課		作成者職氏名	指導主事市原 猛							
施策	スポーツ指導者の養成及び資質の向上										
	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供										
	0										
事業・取組	学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施										
1 事業 概要	①事業概要		学校の教員のために体育・スポーツに関する指導者研修会を実施する。								
	②活動実績		県保体課主催の体育実技指導者研修会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		体育実技講習会		目標値	45	45	45	45	48	50	
		指標種別	単位	実績値	45	0	45	0	0	0	
		活動結果指標	参加人数								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。										
6 今後の 課題・ 取組	取組継続										
7 原課 評価	—	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、県が事業を中止したことにより、実施しなかったため。										
9 新型コロナウイルス 感染症 の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	完全に中止			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容	オンライン開催									

担当課	学び推進課		作成者職氏名	指導主事市原 猛							
施策	スポーツ指導者の養成及び資質の向上										
	0										
	0										
事業・取組	学校体育コーディネート事業										
1 事業 概要	①事業概要	茨城県の体育授業アドバイザー派遣事業により、大学講師等の専門家から学校の教員に対して体育・スポーツに関する助言をもらう。									
	②活動実績	県事業の体育授業アドバイザー派遣により東小学校と、真瀬小学校で活用。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		県体育授業アドバイザー派遣		目標値	5	5	5	5	5	5	
		指標種別	単位	実績値	2	2	1	2	0	0	
		活動結果指標	校								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	県事業の体育授業アドバイザー派遣を東小学校、真瀬小学校で活用し、体育授業の授業力向上に繋がり、子どもの運動技能の向上につながったと考えられる。										
6 今後の 課題・ 取組	取組継続										
7 原課 評価	C	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	コロナの影響で体育授業が実施しにくく、活用がしにくい状態であったと考えられる。										
9 ウ 症イ 新 の ル 型 影 ス コ ロ ナ 感 染	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容	-									

担当課	健康増進課		作成者職氏名	保健係長 永井さなえ							
施策	スポーツ指導者の養成及び資質の向上										
	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供										
	0										
事業・取組	運動普及推進員の養成講座及び活動の実施										
1 事業概要	①事業概要	運動普及推進員の養成講座を行い、資格を付与し、委嘱を行い、健康増進事業の協力、企画運営、地域での運動のきっかけづくり、地区での組織的な活動の推進を図る。									
	②活動実績	運動普及推進員養成講座：13名修了 事業協力回数：304回 事業協力延べ人数：1,159人									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		運動普及推進員養成講座実施回数		目標値	6	実施なし	6	実施なし	6	実施なし	
		指標種別	単位	実績値	6	実績なし	-	6	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		運動普及推進員活動回数		目標値	380	390	400	410	420	430	
		指標種別	単位	実績値	357	179	260	304	0	0	
		活動結果指標	回								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	1,343	千円	歳入額	0	千円	支出額	853	千円
5 結果	令和3年度に応募者が少なく実施できなかった運動普及推進員を13名養成できた。また、昨年度よりも事業協力回数、延協力人数も増加した。										
6 今後の課題・取組	事業協力が得られている運動普及推進員が限られているため、新規で養成した推進員が地域で事業に参加できるように支援する。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	感染症対策を講じ、新規で運動普及推進員を養成できたこと、事業を予定通り実施できた。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	運動普及推進員の活動においても、感染対策を徹底して対応した。									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ教室開催事業										
1 事業 概要	①事業概要	市民のニーズに応じて多様なスポーツ教室を開催する。									
	②活動実績	11教室を開催し、延べ670名の参加があった。 (内訳) バドミントン全4回64名/トレイルラン全4回56名/ヨガ全4回78名/ランニング全4回60名/車いすに座ってできるスポーツ体験全3回38名/スラックライン全4回46名/体幹全4回83名/スプリント全3回75名/子どもの体験教室(低学年)全4回89名/子どもの体験教室(高学年)全3回31名/スポーツコンディショニング講座全2回50名									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		教室数		目標値	12	12	12	12	12	12	
		指標種別	単位	実績値	11	5	7	11	0	0	
		活動結果指標	教室数								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		教室参加者延べ人数		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	896	274	714	670	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	567	千円	支出額	3,019	千円	歳入額	231	千円	支出額	1,179	千円
5 結果	前年度の感染症対策のノウハウを利用し、予定した10教室を行うことができた。										
6 今後の 課題・ 取組	感染防止対策を講じながら、教室参加者のアンケート結果などから、市民ニーズに合う教室を開催していく。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	定員人数の縮小や消毒の設置など感染防止対策を講じながら教室を開催し、スポーツの機会を提供することができた。										
9 症イ新 のル型 影スコ 響感口 染ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1~3割程度			対策の有無	行った(検討した)			
	対策の内容	検温、手指消毒、機材の消毒、体調不良者参加自粛の案内、換気等									

担当課	健康増進課		作成者職氏名	保健師 小野 美菜子							
施策	スポーツ・運動を学ぶ機会の提供										
	0										
	0										
事業・取組	出前体操教室の開催										
1 事業 概要	①事業概要		インストラクターやシルバーリハビリ体操指導士などによる体操を実施する。								
	②活動実績		・健康体操教室（65歳未満も含む） 実施回数：317回 実参加者数：410人 延参加者数：2593人 ・自主活動実施団体数（65歳未満も含む）：6団体								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		多世代交流出前教室実施回数(65歳以上の団体以外※65歳以上の団体はNo23参照)		目標値	460	470	480	490	500	510	
		指標種別	単位	実績値	405	247	260	347	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	7,009	千円	歳入額	0	千円	支出額	5,105	千円
5 結果	・健康体操教室(65歳未満も含む)：通年で事業を実施できた。市報掲載や区会回覧、チラシの配布等を行い、3団体新規申込みがあった。企業連携教室を1か所、企画教室を3ヶ所で実施した。										
6 今後の 課題・ 取組	参加者や参加団体を増やすために、つくスマやツイッター等の周知活動を行う。 企業連携教室や企画教室を通して、教室の周知とPRを行う。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	感染症対策を講じ、通年事業を実施できた。										
9 症イ 新 の ル 型 影 ス コ 響 感 口 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	手指消毒や換気、距離の確保、物品の共有の中止、参加者の体調確認等を実施した。									

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 70

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	スポーツ活動における安全の確保										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ指導者の資格認定や講習会における安全教育の徹底										
1 事業概要	①事業概要	運動やスポーツの指導者や推進員の資格認定や講習会において、安全管理に関する教育研修を徹底する。									
	②活動実績	スポーツ推進委員の研修会や、スポーツ協会によるスタートコーチ養成講習会開催した。 スタートコーチ：地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する者									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		スポーツ推進委員研修会の参加人数		目標値	50	50	50	50	50	50	
		指標種別	単位	実績値	74	0	27	35	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		リーダー養成講習会受講人数		目標値	50	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	63	-	82	69	0	0	
		活動結果指標	人								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	1,900 (スポーツ協会補助金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	16,479 (スポーツ協会補助金)	千円
5 結果	スポーツ少年団で活動する指導者に対し、リスク管理などの安全・安心なスポーツ環境の整備に関する研修を行うことができた。										
6 今後の課題・取組	引き続き、(一社)つくば市スポーツ協会に補助金を交付することで、スポーツ振興会の活動を支援する。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	スポーツ推進委員研修会の参加人数は目標に達しなかったが、多くのスポーツ指導者がスタートコーチ養成講習会へ参加し、少年団の理念を学ぶことができたため。										
9 新しいタイプの感染予防	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った(検討した)			
	対策の内容	必要に応じたマスクの着用、手指消毒、活動規模の縮小等									

担当課	学び推進課		作成者職氏名	指導主事市原 猛							
施策	スポーツ活動における安全の確保										
	0										
	0										
事業・取組	中学校武道等指導推進										
1 事業概要	①事業概要	中学校の武道等の指導を推進し、安全指導を徹底するために、外部指導者の派遣支援を行う。									
	②活動実績	例年、体育実技指導者研修会で武道を受講することになっているが、コロナの影響で中止。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		武道等講習会参加人数		目標値	5	8	8	8	8	8	
		指標種別	単位	実績値	6	-	-	-	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	コロナの影響で実施しなかった。										
6 今後の課題・取組	取組継続										
7 原課評価	—	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	コロナの影響で実施しなかったため										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	完全に中止			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容										

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	スポーツ団体との連携・協働										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ推進審議会事業										
1 事業概要	①事業概要	スポーツ団体関係者、学識経験者などから構成されるつくば市スポーツ推進審議会を設置し、本市のスポーツの推進に関する事項について市長の諮問に応じて調査、審議及び建議を行う。									
	②活動実績	つくば市スポーツ推進審議会を6月29日、9月28日、3月15日に開催し、スポーツ施策について意見を伺った。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		開催回数		目標値	1	1	1	1	1	5	
		指標種別	単位	実績値	2	1	2	3	0	0	
		活動結果指標	回								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	300	千円	歳入額	0	千円	支出額	244	千円
5 結果	スポーツ推進計画に掲げた各施策の進捗状況を報告し、今後のスポーツ施策にいかすため、審議会委員から意見を伺った。										
6 今後の課題・取組	審議会の円滑な運営のため、スポーツの推進に関する事項の情報収集や議事の検討、会議資料の作成を適切に行い、会議に備える。また、令和4年度から次期スポーツ推進計画策定が始まるため、速やかに進められるよう、会長等と密に連携を取る。										
7 原課評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	つくば市スポーツ推進計画の進行管理や今後のスポーツ事業等について、助言を受け、施策の参考とすることができた。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	席の間隔の確保、検温、手指消毒、機材の消毒、体調不良者参加自粛の案内、換気等									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	スポーツ団体との連携・協働										
	0										
	0										
事業・取組	民間スポーツ団体との協定締結及び地域連携										
1 事業概要	①事業概要	民間のスポーツ団体と相互協力に関する協定を締結し、地域連携を行う。また、本市に拠点を置くトップスポーツチームと連携して、スポーツの振興や地域の活性化を行う。									
	②活動実績	昨年度まで中止となっていた、スポーツフェスティバルは開催することができ、協定団体である「つくばFC」「つくばユナイテッドサンガイア」「茨城ロボッツ」ほかスポーツ団体とともにイベントを行った。 ○トップチーム協定一覧 鹿島アントラーズ、茨城ロボッツ、つくばユナイテッドサンガイア、つくばFC									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		スポーツフェスティバル参加者数		目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		指標種別	単位	実績値	805	0	0	603	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	2,056	千円	歳入額	0	千円	支出額	1,528	千円
5 結果	昨年まで中止となっていた、トップスポーツチームと連携して開催しているスポーツフェスティバルを実施することができた。										
6 今後の課題・取組	引き続き、スポーツチームとの連携を図り、事業を実施していく。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	各スポーツ団体との連携が図れているため。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり		影響の度合い		1～3割程度		対策の有無	行った（検討した）		
	対策の内容	検温、手指消毒、機材の消毒、体調不良者参加自粛の案内、換気等									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 竹前 亘							
施策	大学及び研究機関との連携・協働										
	0										
	0										
事業・取組	つくばマラソン開催事業										
1 事業 概要	①事業概要	地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。									
	②活動実績	3年ぶりに現地での大会を開催した。筑波大学医学系講師と連携し、245人の医療救護体制を敷き、276件の救護を行った。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		医療救護件数		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	267	0	0	276	0	0	
		活動結果指標	件								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	0	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	15,000(マラソン実行委員会 への負担金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	15,000(マラソン実行委員会 への負担金)	千円
5 結果	3年ぶりの現地での開催に当たり、筑波大学医学系講師と連携し、245人医療救護体制を敷き、276件の救護を行った。体育系の教授とは、大会の企画について連携を図り、協働してつくばマラソン練習会を開催した。										
6 今 後 の 課 題 ・ 取 組	筑波大学の教授等が監修した「マラソンを科学する」という取り組みを実施しているが、より多くの研究者の知見を活かせるような体制づくりに取り組む。										
7 原 課 評 価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	つくばマラソンの開催に当たり、医療救護体制に関しては筑波大学医学系の講師と、競技運営に関しては体育系の教授と連携・協働したため。										
9 ウ イ 新 の 影 響 感 染 ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	大学及び研究機関との連携・協働										
	0										
	0										
事業・取組	筑波大学とのスポーツ推進のための協定締結に基づく協議会の開催										
1 事業概要	①事業概要	筑波大学とスポーツ振興等に関する連携を推進するために協定締結に基づくスポーツ連携推進連絡協議会を開催する。									
	②活動実績	スポーツ連携推進連絡協議会については、必要に応じ少人数で行うこととなっており、令和4年度においては開催しなかった。 また、令和元年度より実施している「スポーツ連携・マッチング制度」については、実績がなかった。 なお、必要に応じて行う事業であることから、指標の設定は行わない。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-	-	
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-	-	
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	「スポーツ連携・マッチング制度」の実績はなかったが、障害者スポーツ関係、つくばマラソンなど様々な事業で連携を行うことができた。										
6 今後の課題・取組	「スポーツ連携・マッチング制度」の認知度向上について検討していく。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	スポーツ連携推進連絡協議会の開催や「スポーツ連携・マッチング制度」の実績はなかったが、つくばマラソン、スポーツ推進審議会、障害者スポーツなど、様々な分野で連携し事業を行うことができたため。										
9 新しいタイプの感染予防	影響の有無	影響なし	影響の度合い	対策の有無							
	対策の内容										

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 77

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	行政部局間の連携の促進										
	0										
	0										
事業・取組	つくば市未来構想・戦略プラン等の企画・策定における連携・協議										
1 事業概要	①事業概要	つくば市未来構想・戦略プラン等の企画・策定においてスポーツ関連施策に関する事業を調整し、関係部局と連携・協議して計画を策定する。									
	②活動実績	令和元年度に策定された「つくば市未来構想」・「第2期つくば市戦略プラン」のうち、「個別施策1-2-④ スポーツでつながるまちの推進」について、以下の取組を行った。 ・ランナーに愛されるまちの実現：ランニングマップの配布、ランニング教室の実施 ・関係機関・団体と連携したスポーツの推進：（一社）つくば市スポーツ協会と連携してスポーツ体験教室の開催 ・スポーツ施設等の改修及び不足しているスポーツ施設等の整備検討：必要に応じたスポーツ施設の改修等の実施、陸上競技場整備基本構想の検討									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-	-	
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-		-	0	0	-	0	0	
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	「つくば市未来構想」・「つくば市戦略プラン」に掲げられたスポーツ関連施策について、新型コロナウイルス感染症の影響が出た事業もあるが、具体的に取り組むことができた。										
6 今後の取組	引き続き、「つくば市未来構想」・「つくば市戦略プラン」に掲げられたスポーツ関連施策について、取組みを行っていく。										
7 原課評価	S	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	具体的な取組を行い、施策の進捗を図ることができたため。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	必要に応じたマスクの着用、手指消毒、活動規模の縮小 等									

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	行政部局間の連携の促進										
	0										
	0										
事業・取組	スポーツ推進計画の策定										
1 事業概要	①事業概要	スポーツ推進審議会、関係部局、関係団体、市民などと協議し、スポーツ推進計画を策定する。									
	②活動実績	つくば市スポーツ推進計画に基づく事業の進捗状況について進行管理を行った。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		進行管理の実施		目標値	1	1	1	1	1	1	
		指標種別	単位	実績値	1	1	1	1	0	0	
		活動結果指標	回		-	-	-	-	-	-	
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-	-	
3予算額					4決算額						
歳入額	-	千円	支出額	-	千円	歳入額	-	千円	支出額	-	千円
5 結果	つくば市スポーツ推進計画に基づく事業の進行管理を行うことで、スポーツ関連事業の情報集約を行うとともに、課題の共有や事業の改善を図ることができた。										
6 今後の課題・取組	引き続き、事業の進行管理を行う。 令和5年度末で、現在のスポーツ推進計画の期間が満了となるため、時期スポーツ推進計画の策定に向け準備を進める。令和4年度はアンケートや関係団体等のヒアリングを実施する予定。										
7 原課評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	進行管理の実施により、スポーツ推進計画に基づく個々施策の推進を図ることができたが、スポーツ施策全体としては、まだ十分とは言えない状況である。										
9 新型コロナウイルス感染症の影響	影響の有無	影響なし		影響の度合い			対策の有無				
	対策の内容										

令和4年度つくば市スポーツ推進計画進行管理調査票

No. 79

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	係長 中山 真由美							
施策	国、茨城県等との連携										
	0										
	0										
事業・取組	国のプロジェクトの活用										
1 事業概要	①事業概要		国等が実施する多様なプロジェクトなどを本市のスポーツの推進に積極的に活用する。国から委託を受けて公益的なスポーツ事業を実施している民間のスポーツ団体と連携する。								
	②活動実績		(一社)つくばしスポーツ協会が(公財)日本スポーツ協会の事業である「スタートコーチ養成講座」を実施し、茨城県内から69人の参加があり「理念を学んだ指導者」として、資格を取得した。 文部科学省の事業である学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について、教育局と打合せを行った。								
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		リーダー養成講習会受講人数		目標値	50	50	50	50	50	50	
		指標種別	単位	実績値	63	0	82	69	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	1,900 (スポーツ協会補助金)	千円	歳入額	0	千円	支出額	16,479 (スポーツ協会補助金)	千円
5 結果	つくば市内はもちろん県内からも多く参加し、指導者の養成及び資質の向上を図ることができた。 国が実施する施策について、教育局と打合せを行い、情報共有することができた。										
6 今後の課題・取組	引き続き、利用可能なプロジェクト等に関する情報を収集する。 また、スポーツ関連団体との連携を検討する。										
7 原課評価	S	S	順調に進んでいる(達成度が100%以上)								
		A	おおむね順調に進んでいる(達成度がおおむね80%以上100%未満)								
		B	やや遅れている、改善事項がある(達成度がおおむね60%以上80%未満)								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある(達成度がおおむね60%未満)								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価理由	つくば市内外から多くが参加し、資格を取得することができ、また、関係部局との打合せを行い、情報共有を行うことができたため。										
9 新しいタイプの感染ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い							対策の有無	
	対策の内容										

担当課	スポーツ振興課		作成者職氏名	主事小林 陽平							
施策	国、茨城県等との連携										
	0										
	0										
事業・取組	総合型地域スポーツクラブ・拠点クラブの支援										
1 事業 概要	①事業概要	国及び関係団体が実施している総合型地域スポーツクラブ及び拠点クラブに関する事業と連携し、本市における地域スポーツクラブの設立及び運営を支援する。									
	②活動実績	総合型地域スポーツクラブであるつくばFCの求めに応じ、広報の協力やホームゲームで使用するサッカー場の予約を行った。									
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	-	-	-	0	0	
		-	-		-	-	-	-	-	-	
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	0	0	0	
		-	-		-	0	0	0	0	0	
3予算額					4決算額						
歳入額	-	千円	支出額	-	千円	歳入額	-	千円	支出額	-	千円
5 結果	広報活動への協力やホームゲーム開催場所の確保等を行うことで、総合型地域スポーツクラブの活動を支援することができた。										
6 今後の 課題・ 取組	総合型地域スポーツクラブへの支援方法について、引き続き検討していく。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	総合型地域スポーツクラブの運営を支援することができたため。										
9 ウ 症イ の新 ル型 影ス 響コ 感ロ 染ナ	影響の有無	影響なし	影響の度合い	対策の有無							
	対策の内容	-									

担当課	学び推進課		作成者職氏名	指導主事市原 猛							
施策	国、茨城県等との連携										
	0										
	0										
事業・取組	学校体育関連事業との連携										
1 事業 概要	①事業概要		外部指導者派遣、児童・生徒の体力アップ推進プロジェクト、学校体育コーディネート事業等、茨城県が実施している学校体育・スポーツに関する多様な事業との連携を図る。								
	②活動実績		体力運動能力テストの結果をもとに、各校で取り組む課題を決定し、目標値を決めて取り組んだ。								
2 指標	指標 ①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		体力アップ推進プラン		目標値	45	45	45	45	45	5	
		指標種別	単位	実績値	45	0	45	45	0	0	
		活動結果指標	校								
	指標 ②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	0	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	0	千円	歳入額	0	千円	支出額	0	千円
5 結果	小学校は投力アッププランを、中学校は改善を図るポイントをしぼったプラン（走力アッププラン、柔軟性アッププラン）を実施し、運動技能の向上を図った。										
今 後 の 取 組	取組継続										
7 原 課 評 価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評 価 理 由	各校共に目標値を決めて計画的に進めているため充実している。										
ウ 9 症 イ 新 の ル 型 影 ス コ ロ ナ 影 響 感 染 ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	4～6割程度			対策の有無	行った（検討した）			
	対策の内容	県の方針に沿いながら、体育授業をコロナの影響等を考慮しながら実施した。									

担当課	サイクルコミュニティ推進室		作成者職氏名	係長 田山 俊介							
施策	国、茨城県等との連携										
	0										
	0										
事業・取組	つくばりんりんロード活性化レンタサイクル事業										
1 事業 概要	①事業概要	茨城県「いばらきサイクルツーリズム推進事業」によるつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用促進活動と連携して、つくば霞ヶ浦りんりんロードを有効活用するためにレンタサイクル事業を実施する。									
	②活動実績	健康増進、環境負荷低減、道路渋滞の緩和、地域振興の実現等の各種社会課題解決に資する自転車利用を推進する一助として、自転車を所有しない市民や、来訪者に対してレンタサイクル事業を継続した。									
2 指標	指標①	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		広域レンタサイクルのつくば市からの利用者数		目標値	166	182	200	220	242	266	
		指標種別	単位	実績値	148	170	107	184	0	0	
		活動結果指標	人								
	指標②	指標名		年度	1	2	3	4	5	6	
		-		目標値	-	-	-	-	-	-	
		指標種別	単位	実績値	-	0	-	-	0	0	
		-	-								
3予算額					4決算額						
歳入額	0	千円	支出額	985	千円	歳入額	0	千円	支出額	830	千円
5 結果	茨城県と協働で市域をまたいだサイクリングルートの構築の検討や、SNSで市内の魅力的な自転車スポットの紹介を開始する等、広域でのレンタサイクル利用を促進するための各種施策と実施した。										
6 今後の 課題・ 取組	市域をまたいだサイクリングルートのモニターツアーを実施することで、魅力的なサイクリングルートを構築し、レンタサイクルの利用促進を図る。										
7 原課 評価	A	S	順調に進んでいる（達成度が100%以上）								
		A	おおむね順調に進んでいる（達成度がおおむね80%以上100%未満）								
		B	やや遅れている、改善事項がある（達成度がおおむね60%以上80%未満）								
		C	遅れている、大幅な改善事項がある（達成度がおおむね60%未満）								
		-	評価することができない事業である、終了、廃止								
8 評価 理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、当初予定の8割程度の利用となった。										
9 症イ新 のル型 影スコ 響感口 染ナ	影響の有無	影響あり	影響の度合い	1～3割程度			対策の有無	行っていない（検討していない）			
	対策の内容										